

Classic 版

# SkyVisualEditor

## インプリメンテーションワークブック

株式会社テラスカイ

2021 年 1 月 13 日



## 目次

1. はじめに.....	1
本ワークブックの目的.....	1
対象利用者.....	1
本ワークブックで習得できるスキルセット.....	1
2. SkyVisualEditor の動作環境.....	2
3. 事前準備.....	3
Developer Edition にサインアップする.....	3
AppExchange パッケージをインストールする.....	3
人材紹介アプリケーションをインストールする.....	4
Windows 版 Studio にサインアップする.....	4
Studio をインストールする.....	4
Salesforce と Studio の接続.....	6
4. 顧客要件の把握と実装方法の選定.....	7
顧客要件に基づく使用機能の選定.....	9
Salesforce のオブジェクト構成に基づく画面レイアウトの選定.....	12
SkyVisualEditor VF の特徴及び機能制限に基づくレイアウトの選定.....	16
本ワークブックにおける実装方法のまとめ.....	18
5. Salesforce レイアウトによる画面の実装.....	20
Salesforce レイアウトの特徴.....	20
ページブロックの表示モードによる出力の違い.....	21
入力項目の配置.....	22
コンポーネントの配置.....	25
コンポーネントプロパティの設定.....	26
ページプロパティの設定.....	28
マージフィールドを使用した表示テキストの動的表示設定.....	28
データテーブルの設定.....	29
ページレイアウト取得.....	32
パネルグリットによる整形.....	33
入れ子にしたページブロックセクションによる整形.....	35
計算式の設定.....	35
参照画面作成.....	38
6. 自由レイアウトによる画面の実装.....	41
自由レイアウトの特徴.....	41

背景画像の設定 .....	41
PDF 化 .....	43
カスタムボタンからの呼び出し .....	44
7. 検索テンプレートによる画面の実装 .....	45
検索テンプレートの特徴 .....	45
ウィザードでの設定 .....	45
ウィザード完了後の設定 .....	49
マスク設定 .....	49
絞込条件 .....	49
検索結果保持形式 .....	50
8. カスタムルックアップテンプレートによる画面の実装 .....	52
カスタムルックアップテンプレートの特徴 .....	52
ウィザードでの設定 .....	52
呼び出し元画面の設定 1（単一レコード選択画面） .....	54
呼び出し元画面の設定 2（複数レコード選択画面） .....	54
9. Dashboard レイアウトによる画面の実装 .....	56
Dashboard レイアウトの特徴 .....	56
コンポーネントの配置 .....	56
10. デプロイ後に行う Salesforce の設定 .....	60
画面呼び出し設定（ボタン／リンクの上書き） .....	60
画面呼び出し設定（Visualforce タブ） .....	61
Visualforce ページ、Apex クラスへのアクセス有効化 .....	62
11. より便利に利用いただくために .....	63
ルックアップ時に任意の項目値を取得する機能（ルックアップ設定） .....	63
ウィザード画面テンプレート .....	63
ページ割り当てテンプレート .....	63
親子登録テンプレート .....	64
AppComponent .....	64
12. 高度なカスタマイズ .....	67
JavaScript 機能 .....	67
Apex クラス拡張機能 .....	68
ユースケース .....	68
13. SkyVisualEditor のバージョンアップの仕組み .....	70
14. 大規模開発向け機能 .....	70
複数組織への接続 .....	70
デザインデータのバックアップ .....	70

グループユーザー .....	71
旧環境（前バージョン）の利用 .....	71
15. Salesforce プラットフォームの理解 .....	73
Apex コードカバー率 .....	73
ガバナ制限 .....	73
16. パフォーマンスチューニング .....	74
17. トラブルが発生した際の対処方法 .....	75
18. Appendix .....	77
19. お問い合わせ先 .....	77

## 1. はじめに

---

### 本ワークブックの目的

本ワークブックは SkyVisualEditor で画面開発を行う方のために、開発手法をチュートリアル形式で学習いただくことを目的としています。本ワークブックに沿って演習することで一連の SkyVisualEditor 画面開発手法を習得できます。

### 対象利用者

本ワークブックは以下に当てはまる方を対象として作成しています。

- ・ Salesforce の認定 Administrator、認定 Platform アプリケーションビルダーと同等の知識を有する方
- ・ SkyVisualEditor の画面開発手法を基礎から学ばれる方
- ・ SkyVisualEditor で画面を作成して顧客または社内の利用ユーザに提案する立場の方

### 本ワークブックで習得できるスキルセット

本ワークブックで習得できるスキルセットは以下の通りです。Salesforce の宣言的開発並びに Visualforce / Apex 開発に関するスキルは対象外です。

- ・ SkyVisualEditor VF の標準機能を使用した画面開発スキル
- ・ SkyVisualEditor VF の Apex クラス拡張機能及び JavaScript 機能の基本知識
- ・ SkyVisualEditor VF の AppComponent による開発に関する基本知識

## 2. SkyVisualEditor の動作環境

SkyVisualEditor の動作環境は以下の通りです。学習を始める前に、ご利用の環境が条件を満たしているか確認してください。なお、本ワークブックはデスクトップのみ動作保証をしています。モバイル／タブレット等でご利用いただいた場合の動作保証はしていません。

### SkyVisualEditor VF Studio

- ・ **Windows 版 Studio**

インストールするには、Windows10 64bit 版の環境が必要です。

その他のシステム要件は、以下を参照ください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=48762065>

- ・ **IE 版 Studio**

Microsoft Internet Explorer、且つ Microsoft Silverlight のシステム要件に準拠します。

Microsoft Silverlight のシステム要件詳細は以下を参照ください。

但し、Silverlight のバージョンは 5 のみのサポートとします。

<https://www.microsoft.com/getsilverlight/locale/en-us/html/installation-win-SL5.html>

本書では、Windows 版 Studio を想定した説明を行います。

### ブラウザ

- ・ **デプロイ後の Salesforce 画面 (Visualforce)**

Mozilla Firefox、Microsoft Internet Explorer、Google Chrome について、salesforce.com 社と同様のブラウザバージョンで動作します。

但し、一部機能においてはブラウザによって動作しないものがあります。

Google Chrome で動作しない機能

- × IME モード (※注 Apple Safari でも動作しません)
- × SkyOnDemand 連携 (※注 Apple Safari でも動作しません)

### Salesforce

Salesforce の各製品の Enterprise Edition 以上及び Developer Edition で動作します。より詳細な情報を確認する場合はヘルプを参照してください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10002841>

※ 本ワークブックは Salesforce Classic でのご利用を前提としています。

### 対応言語

- ・ **Windows 版 Studio**

日本語、英語

#### ・ デプロイ後の Salesforce 画面 (Visualforce)

日本語、英語、中国語（繁体中国語、簡体中国語）

- ※ 画面に表示される文言は全てトランスレーションワークベンチに対応しているため、各言語の文言を設定すれば Salesforce が対応している言語への対応は全て可能です。
- ※ 設定文言は組織毎に変更することが可能です。

### 3. 事前準備

本ワークブックをご利用になる前に、必要なサインアップ及びインストールを行います。

1. [Developer Edition にサインアップする](#)
2. [AppExchange パッケージをインストールする](#)
3. [人材紹介アプリケーションをインストールする](#)
4. [SkyVisualEditor Studio にサインアップする](#)
5. [Microsoft Silverlight をインストールする](#)

#### Developer Edition にサインアップする

本ワークブックでは、開発用の Developer Edition 組織（以降、「DE 組織」と表記）を使用します。

1. DE 組織のサインアップページにアクセスします。  
<https://developer.salesforce.com/signup>
2. 各項目を入力し、フォームを送信します。
3. フォームに入力したメールアドレス宛にログインリンクが記載されたメールが届きます。リンクをクリックし、パスワードを変更します。

#### AppExchange パッケージをインストールする

SkyVisualEditor を利用してページを作成するには、ページをデプロイする組織に SkyVisualEditor の AppExchange パッケージをインストールしておく必要があります。このパッケージは 30 日間に限り 2 ユーザーで利用できます。機能制限はありませんので、本ワークブックの学習にあたり支障はありません。

1. AppExchange の SkyVisualEditor インストールページにアクセスします。  
<https://appexchangejp.salesforce.com/listingDetail?listingId=a0N30000003IV0BEA4>
2. [今すぐ入手] をクリックします。
3. [AppExchange にログインする] をクリックします。

4. AppExchange サイトにログインするアカウントのユーザ名/パスワード を入力し、[ログイン] をクリックします。必ずしもパッケージをインストールする組織のユーザ名でログインする必要はありませんが、今回は先に取得した DE 組織のユーザ名でログインしてください。
5. [本番環境にインストール] をクリックします。
6. 利用規約の同意にチェックを入れ、[確認してインストール!] をクリックします。
7. ログインダイアログが表示されるので、先に取得した DE 組織のユーザ名でログインします。
8. [すべてのユーザのインストール] を選択し、[インストール] をクリックします。

## 人材紹介アプリケーションをインストールする

取得した DE 組織に学習用のパッケージをインストールします。パッケージには本ワークブックを進めるにあたり必要なアプリケーション及びカスタムオブジェクトが含まれます。

1. インストール用 URL リンクを開きます。  
<https://login.salesforce.com/packaging/installPackage.apexp?p0=04t28000000QqxZ>
2. DE 組織のユーザ名とパスワードを入力します。
3. 以下パッケージのパスワードを入力し、インストールします。  
aPp8wvvn

## Windows 版 Studio にサインアップする

SkyVisualEditor VF の画面をデザインする Windows 版 Studio（以降、「Studio」と表記）は、ユーザ登録することで無償利用できます。

1. Studio サインアップページにアクセスします。  
<https://www.skyvisualeditor.com/se2/signup/index>
2. 各項目を入力し、フォームを送信します。
3. フォームに入力したメールアドレス宛にログインリンク・ユーザ名・仮パスワードが記載されたメールが届きます。リンクをクリックし、パスワードを変更します。

## Studio をインストールする

Studio を利用するには、ご使用の端末に Studio をインストール必要があります。インストーラーは、サインアップ後のログイン画面からダウンロードできます。ダウンロード後、インストーラーを実行して下記手順でインストールを行ってください。

1. Studio のインストーラーをダブルクリックします。

2. [インストールモードを選択してください] ダイアログが表示されます。[現在のユーザ用にインストール] をクリックします。
3. [セットアップに使用する言語の選択]ダイアログが表示されます。[日本語]を選択して[OK]をクリックします。
4. セットアップウィザードが表示されます。[次へ] をクリックします。
5. インストール先の指定を行います。デフォルトのインストール先が設定されていますので、変更する場合は[参照]からインストール先のフォルダを選んでください。選択後、[次へ]をクリックします。
6. 追加タスクの選択が表示されます。デスクトップに Studio を起動するアイコンを配置する場合は、[デスクトップ上にアイコンを作成する]にチェックを入れます。[次へ]をクリックします。
7. インストール準備完了の画面が表示され、内容に問題がなければ[インストール]をクリックします。
8. セットアップウィザードの完了の画面が表示されます。[完了]をクリックしてウィザードを終了します。

## Salesforce と Studio の接続

SkyVisualEditor は Studio から Salesforce に接続し、オブジェクトや項目等のメタデータを取得することで画面をデザインします。また、デザイン後には同じ接続を使用して Salesforce に Visualforce ページと Apex クラスをデプロイします。以下に相関図を示します。

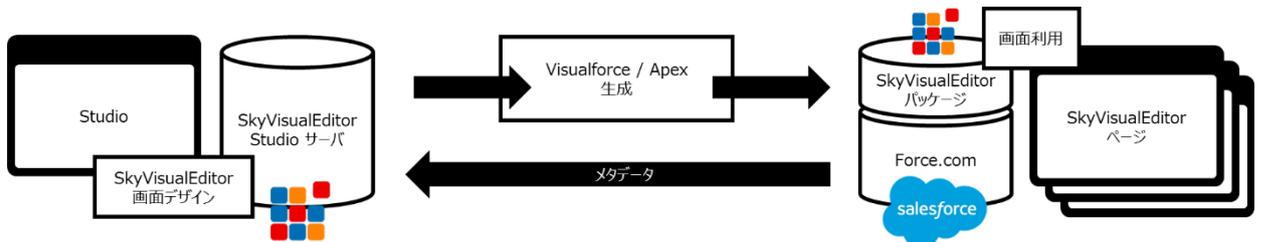


図 1 : Salesforce、AppExchange パッケージと Studio の相関図

Studio から Salesforce に接続するためには、事前にセキュリティの設定を行う必要があります。

- A) セキュリティトークンを使用する
- B) IP アドレスを許可する
- C) ネットワークアクセスを設定する（IP アドレスの制限がない組織のみ有効）

本ワークブックでは C の設定を行い、Studio サーバのグローバル IP アドレスからの接続を許可します。

1. Salesforce の設定画面を開きます。
2. [クイック検索] に “ネットワークアクセス” と入力します。
3. 管理 > セキュリティのコントロール の “ネットワークアクセス” をクリックします。
4. 信頼済み IP 範囲の [新規] をクリックします。
5. 開始 IP アドレス欄と終了 IP アドレス欄に、“**176.34.50.109**” と入力して保存します。
6. 再度 [新規] をクリックし、もう 1 つの IP アドレスを入力します。  
開始 IP アドレス欄と終了 IP アドレス欄に、“**107.21.209.75**” と入力して保存します。

A 及び B の設定についてはヘルプを参照してください。

<https://doc.terraSky.com/pages/viewpage.action?pageId=10002853>

## 4. 顧客要件の把握と実装方法の選定

---

SkyVisualEditor VF は Salesforce の画面開発（Visualforce, Apex クラス等）を GUI で行うツールです。従って、事前に運用状況やオペレーションフローを考慮した上で顧客要件を明確にし、Salesforce もしくは SkyVisualEditor VF の標準機能で実現可能な部分と個別開発（Visualforce, Apex クラス等のコーディング開発もしくは SkyVisualEditor VF の拡張機能開発）が必要な部分の切り分けを行う必要があります。顧客要望の優先度や開発コストによってトレードオフとなる場合もありますので、このプロセスは大変重要です。

この章では、仮定の顧客要件に基づく実装方法の選定について学びます。

## 架空の人材紹介会社「TS スタッフング株式会社」にて

### 運用状況：

- ・ 既に Salesforce で「人材紹介アプリケーション」を運用中。
- ・ 求人情報、人材情報、紹介情報をそれぞれカスタムオブジェクトで構築している。

### オペレーションフロー：

- ・ 求人情報詳細画面から紹介予定の人材情報レコードの紐付けを行い、紹介履歴を管理している。

### 顧客の課題：

- ・ Salesforce 標準レイアウトを使用しているが、関連リストのレコードを編集または追加する際に画面遷移するのが使いづらいという悩みを抱えている
- ・ 求人案件にマッチする人材をもっと検索しやすくなりたいかと営業からクレームが来ている
- ・ 人材情報にはスキル等の管理項目が多く、Salesforce 標準レイアウトでは管理しづらく感じている
- ・ 取引先（求人元）に人材のスキルシートを提示しているが、毎回 Salesforce の内容を Excel にコピーして作成しているため、負担が大きくミスも発生しやすい。Salesforce から帳票を直接出力したい。

「求人情報」詳細画面

「紹介」関連リスト

関連リストのレコードを編集または追加する際に画面遷移するのが使いづらい

「人材情報」の検索と「紹介」レコードの登録

求人案件にマッチする人材をもっと検索しやすくなりたい

スキルシート

Salesforceから直接出力したい

「人材情報」詳細画面

スキル等の管理項目をスッキリまとめたい

## 顧客要件に基づく使用機能の選定

TS スタッフィング株式会社の要件を整理すると、以下のようになります。

- ・ 親子情報を一括で登録・編集し、作業効率を上げたい。
- ・ 求人案件にマッチする人材を迅速に検索したい。
- ・ 管理項目が多いオブジェクトの画面をコンパクトにまとめ、視認性を高めたい。
- ・ Salesforce から帳票を直接出力することで、Excel との二重入力を廃止したい。

さらに、要件定義を進めると以下のような課題も表面化するかもしれません。これらの事項は多くの顧客に当てはまる場合があり、Salesforce/SkyVisualEditor/コーディング開発いずれかの方法での解決手段が用意されているものです。

- ・ リッチな画面を使いたいが、デザインは Salesforce 標準レイアウトを踏襲したい。
- ・ マスタオブジェクトを参照するレコードをより素早く登録したい。
- ・ ユーザごとにレイアウトを分岐したい。
- ・ マニュアルを見なくてもスムーズに操作できるよう、ホームタブに手順を載せたい。
- ・ 特定のオブジェクトに対して検索条件を動的に変えながら検索したい。
- ・ 画像を表示したい。
- ・ 選択リスト項目に選択肢以外の値を入力したい。
- ・ Web からの問い合わせ情報を Salesforce に取り込みたい。
- ・ 重要項目の文字を大きくしたり色付けしたりして目立たせたい。
- ・ 電子サインを付けたい。
- ・ 特定のオブジェクトのレコードが作成されたら、Chatter に投稿したい。
- ・ Salesforce1 モバイルアプリケーション用の画面をカスタマイズしたい。

これらの要件とソリューションを以下の表にまとめます。

要件	ソリューション	
	宣言的開発	コーディング開発
◎ 親子情報を一括で登録・編集し、作業効率を上げたい。	SkyVisualEditor VF で親子登録画面を作成する。	Visualforce / Apex クラス / JavaScript 等で UI を開発する。
◎ 求人案件にマッチする人材を迅速に検索したい。	SkyVisualEditor VF の「 <a href="#">検索テンプレート</a> 」または「 <a href="#">カスタムルックアップテンプレート</a> 」を利用する。	
◎ 管理項目が多いオブジェクトの画面をコンパクトにまとめ、視認性を高めたい。	SkyVisualEditor VF でパネルグリッド・タブを活用した画面を作成する。	
◎ Salesforce から帳票を直接出力することで、Excel との二重入力を廃止したい。	<p><b>画面をそのまま出力する場合：</b> SkyVisualEditor VF で帳票画面を作成し、ブラウザの印刷機能で出力する。もしくは、SkyVisualEditor VF の PDF 化機能を、<a href="#">制限</a>を理解した上で利用する。</p> <p><b>より高度な帳票を出力する場合：</b> 帳票サービス（SVF、OPROARTS 等）やデータ連携サービス（SkyOnDemand 等）を利用する。</p>	
● リッチな画面を使いたい が、デザインは Salesforce 標準レイアウトを踏襲したい。	SkyVisualEditor VF の「 <a href="#">Salesforce レイアウト</a> 」を利用する。	
● マスタオブジェクトを参照するレコードをより素早く登録したい。	SkyVisualEditor VF の「 <a href="#">カスタムルックアップテンプレート</a> 」と「マスター取得」機能を利用する。	
ユーザごとにレイアウトを分岐したい。	SkyVisualEditor VF の「 <a href="#">ページ割り当てテンプレート</a> 」を利用する。	
● マニュアルを見なくてもスムーズに操作できるよう、Salesforce 上に手順を載せたい。	SkyVisualEditor VF の「 <a href="#">Dashboard レイアウト</a> 」を利用する。	
● 検索条件を動的に設定しながら検索し、検索結果を直接編集したい。	SkyVisualEditor VF の「 <a href="#">検索テンプレート</a> 」を利用する。	

要件	ソリューション	
	宣言的開発	コーディング開発
画像を表示したい。	<p><b>ページに静的な画像を表示する場合：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ファイル」や「ドキュメント」と数式項目を組み合わせることで画像を表示する。</li> <li>SkyVisualEditor VF の「画像」コンポーネントもしくは「背景画像」機能を利用する（「背景画像」は<a href="#">自由レイアウト</a>のみ利用可能）。</li> </ul> <p><b>レコード毎に画像を動的表示する場合：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「メモ &amp; 添付」や「ファイル」、「ドキュメント」と数式項目を組み合わせることで画像を表示する。</li> <li>リッチテキスト項目に画像を貼付する。</li> </ul>	Visualforce / Apex クラス / JavaScript 等で UI を開発する。
選択リスト項目に選択肢以外の値を入力したい。	<a href="#">SkyVisualEditor VF 標準 AppComponent</a> の「編集可能な選択リスト」を利用する。	
Web からの問い合わせ情報を Salesforce に取り込みたい。	SkyVisualEditor VF の「 <a href="#">ウィザード画面テンプレート</a> 」を利用する。	
重要項目の文字を目立たせたい。	SkyVisualEditor VF に配置した項目のプロパティで設定する。	
電子サインを付けたい。	SkyVisualEditor VF の「手書きサイン」を利用する。	
特定のオブジェクトのレコードが作成されたら、Chatter に投稿したい。	Salesforce の「 <a href="#">プロセスビルダー</a> 」を利用する。	
Salesforce1 モバイルアプリケーション用の画面をカスタマイズしたい。	<a href="#">SkyVisualEditor でモバイルアプリケーションに最適化した画面を作成し、Salesforce1 に適用する。</a>	

TS スタッフィング株式会社では、上記の内「◎」が予め顕在化していた顧客要件、「●」が要件定義中に課題として認識され、追加された要件となりました。これらの要件を満たす画面を実装するために、次項以降で画面レイアウトを決定し、SkyVisualEditor VF の宣言的開発で画面を作成します。

## Salesforce のオブジェクト構成に基づく画面レイアウトの選定

SkyVisualEditor で画面を作成する際は、Dashboard レイアウト以外のレイアウト/テンプレートで必ず「**主オブジェクト**」を宣言します。主オブジェクトを中心に、SkyVisualEditor で 1 画面内に入力項目として配置可能なオブジェクトをシンプルにまとめた図を以下に示します。

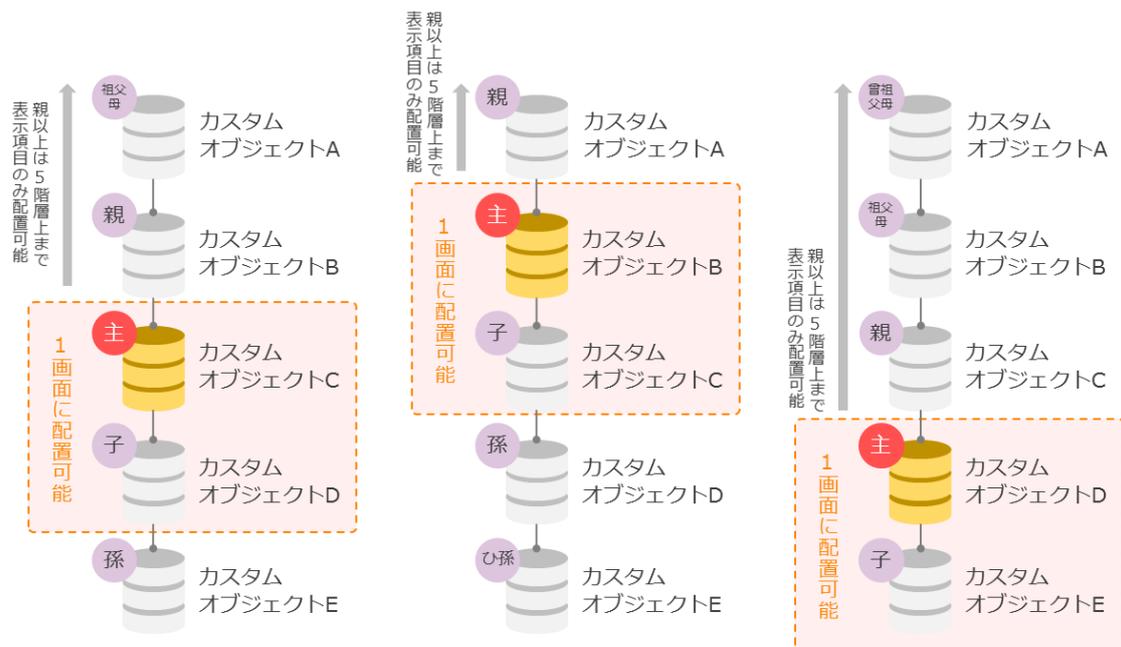


図 2 : 1 画面内に入力項目として配置可能なオブジェクト

上図では、どのオブジェクトを主オブジェクトにするかにより、配置可能な範囲がスライドしていることが確認できます。

では実際に、どのような形式で配置できるのかを具体的なデータモデルを例に解説します。

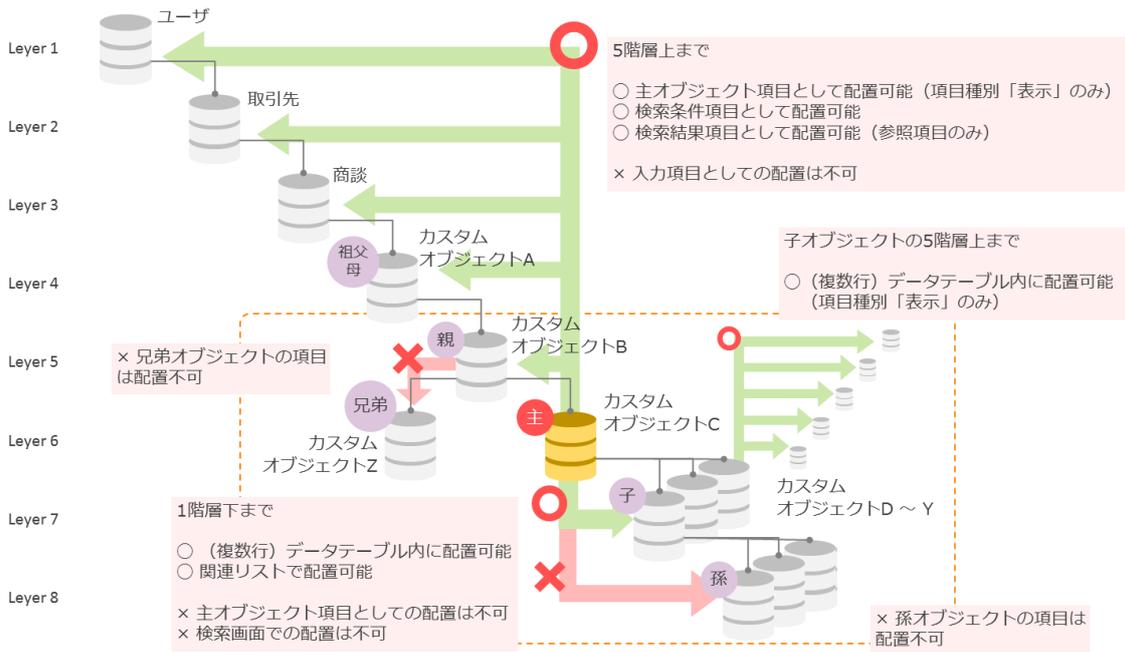


図 3 :データモデルの具体例

主な用語の解説

取引先

取引先情報

顧客ID Yamashita Akiko

取引先名 テラスカイ

業種 IT

取引先評価 高

従業員数 100

取引先担当者名 自由に変更

詳細画面に配置した「主オブジェクト項目」

商談

行番号 1/2 件数 5

検索条件

行番号 1/2 件数 5

検索条件

活動履歴

活動の記録 差し込み印刷

アクション 件名 名前 関連先 ToDo 期日

編集   削除	訪問	伊藤 幸子	テラスカイ		2015/01
編集   削除	メール	伊藤 幸子	テラスカイ		2014/12
編集   削除	電話	伊藤 幸子	テラスカイ		2014/11

「データテーブル」で配置した子オブジェクト

「関連リスト」で配置した子オブジェクト

主オブジェクトである「カスタムオブジェクト C」から 5 階層上までアクセスできますが、入力項目としては配置できないため、注意が必要です。また、子オブジェクトもデータテーブル及び関連リストでの配置のみとなるため、詳細形式での画面レイアウトはできません。

兄弟オブジェクトまたは孫オブジェクトについては同一画面上に表示することができませんが、共通する子オブジェクトレコードを介して画面遷移することが可能です。以下に具体例を示します。

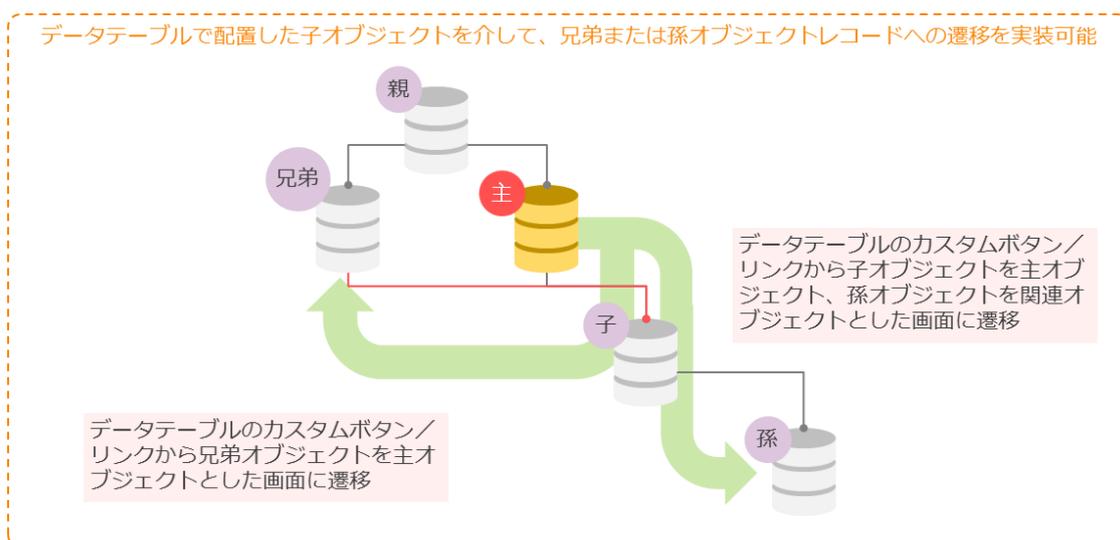


図 4 : 兄弟または孫オブジェクトへの遷移

このように、画面を作成するにはどのオブジェクトの項目をどのようなレイアウトで編集／参照したいかにより主オブジェクトを確定させ、その結果どのような画面が構成可能であるかが自ずと決まります。

では、実際に TS スタッフィング株式会社の「人材紹介アプリケーション」のオブジェクト構成を確認し、主オブジェクトを確定します。

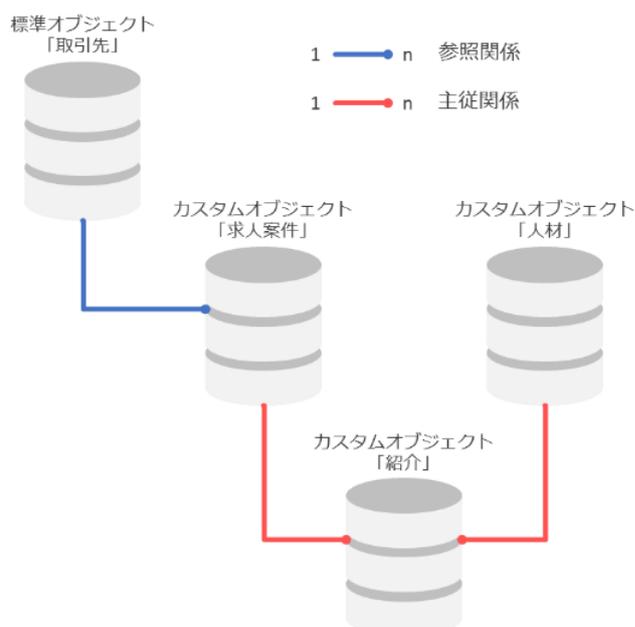


図 5 : TS スタッフィング株式会社の「人材紹介アプリケーション」オブジェクト構成

ここで「人材紹介アプリケーション」のオペレーションフローを思い出してください。

求人情報詳細画面（親）から紹介予定の人材情報レコードの紐付けを行い、紹介履歴（子）を管理している。

このオペレーションフローの中で、親子オブジェクトレコードを一括で登録・編集できる画面を作成する必要がありますので、主オブジェクトは「求人案件」とし、「紹介」オブジェクトはデータテーブルで配置します。

また、紹介レコードを登録する際にはもう一つの親である「人材」を紐付けることも重要なキーワードです。データテーブルに配置したオブジェクト（A）に、別のオブジェクト（B）を親とするリレーション（主従／参照関係）が設定されている場合、B をマスタオブジェクトとする「**マスター取得**」機能を利用して、紹介オブジェクトを一括で登録することが可能となります。例えば、B に山田さんと佐藤さんと高橋さんが人材マスタとして登録されており、とある求人案件に 3 名とも紹介したい場合、「マスター取得」ボタンをクリックし SkyVisualEditor のカスタムルックアップ画面を起動させ、3 名にチェックを入れて「選択」ボタンをクリックすることで、3 名分の紹介レコードが一括登録できます。

具体的な設定方法は後の章で学びますが、まずここでは実装イメージを掴んでおいてください。

## SkyVisualEditor VF の特徴及び機能制限に基づくレイアウトの選定

Studio には 8 つのレイアウトまたはテンプレートがあります。各レイアウトの特徴並びに機能制限を理解し、顧客要件に最適なレイアウト/テンプレートを選択します。また、レイアウト/テンプレートは**一度選択すると後から変更することができない**ので、注意が必要です。

種別	特徴	機能制限
<a href="#">Salesforce レイアウト</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Salesforce(Classic)の標準レイアウトに似たデザインで画面を作成できるレイアウト</li> <li>・ ページブロック、ページブロックセクションが利用可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画面に配置した部品類(コンポーネント)はすべて左寄せで固定される</li> <li>・ 背景画像の利用不可</li> </ul>
<a href="#">自由レイアウト</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 背景画像を利用して、既存の帳票と同様のデザインで画面を作成できるレイアウト</li> <li>・ 部品類(コンポーネント)を任意の場所に配置可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ページブロック、ページブロックセクションの利用不可。</li> <li>・ ページブロックが利用できないため、データテーブルの出力形式はデータテーブルのみ</li> </ul>
<a href="#">検索テンプレート</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定のオブジェクトに対する検索画面をウィザード形式で作成できるテンプレート</li> <li>・ 検索項目並びに検索結果項目(参照)として 5 階層上までのオブジェクトの項目を配置可能</li> <li>・ 検索結果を直接編集したり、画面遷移なく新規レコードを追加することが可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検索対象は 1 オブジェクトのみ</li> <li>・ 検索結果のグルーピング不可</li> </ul>
<a href="#">ウィザード画面 テンプレート</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウィザード形式の入力画面を作成できるテンプレート</li> <li>・ 複数ページに渡り入力項目を配置でき、入力内容を確認する確認ページの作成が可能</li> <li>・ ウィザード内で利用できるレイアウトは Salesforce レイアウトもしくは自由レイアウト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行動結合テーブル、データテーブル、複数行データテーブル、「コピー」ボタン、「帳票出力」ボタン、「PDF」メニューの利用不可</li> <li>・ 連動関係の連動項目として設定されている複数選択リスト項目の利用不可</li> </ul>

種別	特徴	機能制限
<a href="#">Dashboard レイアウト</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主オブジェクトを特定しない参照専用の部品類(コンポーネント)を配置可能なレイアウト</li> <li>データテーブルや画像、AppComponent 等を配置して作成するホーム画面に最適</li> <li>ページブロック、ページブロックセクションが利用可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力項目の利用不可</li> </ul>
<a href="#">カスタムルックアップ アップテンプレート</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主従／参照項目のルックアップ画面をウィザード形式で作成できるテンプレート</li> <li>動的に絞り込みが出来る検索条件を設定することが可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検索条件項目に親オブジェクト項目の利用不可</li> <li>AppComponent の利用不可</li> <li>Salesforce 標準レイアウトでの利用不可</li> </ul>
<a href="#">ページ割り当て テンプレート</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザに表示される Visualforce ページを割り当てることができるテンプレート</li> <li>レコードタイプ及びプロフィールごとに割り当ての設定が可能</li> <li>割り当て設定には標準レイアウトと Visualforce ページを混在させることが可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Salesforce モバイルアプリケーションでの利用不可</li> <li>AppComponent の利用不可</li> </ul>
<a href="#">親子登録テンプレート</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>親・子オブジェクト（主従関係）を同時登録する画面をウィザード形式で作成できるレイアウト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背景画像の利用不可</li> <li>AppComponent の利用不可</li> </ul>

## 本ワークブックにおける実装方法のまとめ

前項までで、顧客要件と Salesforce オブジェクト構成、SkyVisualEditor の機能制限について理解し、実装方法の選定ができました。

実際に画面を作成する前に、実装方法を以下にまとめます。

図 6：実装方法（求人情報画面）

標準レイアウトと同じデザインで、アプリの統一感を維持する。

→ Salesforceレイアウトの採用 (登録・編集用画面×1、参照用画面×1)

関連リストを画面遷移なく追加・編集・一括操作可能にする。

→ データテーブルの使用  
→ マスター取得機能の使用  
→ カスタムルックアップの使用 (複数選択カスタムルックアップ画面×1)

紹介レコード登録時の人材ルックアップ選択の際、人材の特定項目を検索条件にして求人 matches する人材を迅速に検索する。

→ カスタムルックアップの使用 (単数選択カスタムルックアップ画面×1)

図 7：実装方法（人材情報画面）

人材詳細画面からボタンクリックでスキルシートを出力し、Excelとの二重入力をなくす。

→ 自由レイアウト + 背景画像 + PDF化の使用 (PDF用画面×1)

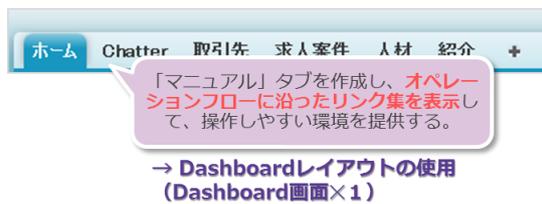
類似項目が繰り返し配置されているので、グリッド形式にまとめて視認性を高める。

→ Salesforceレイアウト + パネルグリッドの使用 (登録・編集用画面×1、参照用画面×1)

図 8 : 実装方法 (紹介情報検索画面)



図 9 : 実装方法 (マニュアル画面)



これで TS スタッフィング株式会社の Salesforce 画面カスタマイズ実装方法が整理できました。次章以降でこれらの画面を実際に作成しながら、SkyVisualEditor VF による画面開発手法を学びます。

## 5. Salesforce レイアウトによる画面の実装

所要時間： 120～180 分

TS スタッフィング株式会社の人材紹介アプリケーションでは、リッチな画面を使いたいが、デザインは Salesforce 標準レイアウトを踏襲したいという要望がありました。この要望を満たすために、Salesforce レイアウトを使用して求人情報画面と人材情報画面を作成します。

### Salesforce レイアウトの特徴

Salesforce レイアウトは、Salesforce 標準レイアウトと似たデザインで画面を作成するためのベースとなるレイアウトです。Visualforce で用意されている各種コンポーネントをこのレイアウトでは利用できるため、画面デザインの統一性を保つことができます。

#### 標準レイアウト

求人案件の編集 [保存] [保存 & 新規] [キャンセル]

**情報**

求人番号 hr-20160331-00001  
 案件名 テラスカイ様\_一般事務課  
 取引先 株式会社テラスカイ  
 状況 マッチング中

**募集要項**

募集職種 OA事務  
 就業開始日 2016/04/01 [2016/04/26]  
 年齢制限(下限) 18  
 性別 女性

#### SkyVisualEditor画面 (Visualforce)

求人案件 [保存] [キャンセル]

**情報**

求人番号 hr-20160331-00001  
 案件名 テラスカイ様\_一般事務  
 取引先 株式会社テラスカイ  
 状況 マッチング中

**募集要項**

募集職種 OA事務  
 就業開始日 2016/04/01 [2016/04/26]

**新規セクション**

年齢制限(下限) 18  
 性別 女性

ページブロックセクション  
 ページブロック

図 10 : ページブロック／ページブロックセクションによるデザインの統合

上図の通り、SkyVisualEditor VF で「ページブロック」「ページブロックセクション」コンポーネントを利用することにより、Salesforce 標準レイアウトと同じデザインで画面が作成できます。この「ページブロック」「ページブロックセクション」は次章で学習する自由レイアウトでは利用できませんので、これらを利用する場合には必ず Salesforce レイアウトを選択してください。

## ページブロックの表示モードによる出力の違い

Salesforce 標準レイアウトは 1 つのレイアウト設定で参照画面と編集画面の両方を制御しますが、SkyVisualEditor VF の画面（Visualforce）を利用する場合は必要に応じて参照画面と編集画面をそれぞれ準備します。その際、ページブロックの表示モードを切り替えることで Salesforce 標準レイアウトの参照画面／編集画面のいずれのデザインで出力するかが決定します。

### 表示モード：edit (標準の編集画面と同じデザイン)

求人案件		保存	キャンセル
<b>情報</b>			
求人番号	hr-20160331-00001		
案件名	テラスカイ様_一般事務		
取引先	株式会社テラスカイ		
状況	マッチング中		
<b>募集要項</b>			
募集職種	OA事務		
就業開始日	2016/04/01		

### 表示モード：maindetail (標準の参照画面と同じデザイン)

求人案件		編集	削除	キャンセル
<b>情報</b>				
求人番号	hr-20160331-00001			
案件名	テラスカイ様_一般事務派遣			
取引先	株式会社テラスカイ			
状況	マッチング中			
<b>募集要項</b>				
募集職種	OA事務			
就業開始日	2016/04/01			

### 表示モード：detail (標準の関連リストと同じデザイン)

紹介			
件数: 1			
紹介番号	紹介日	面談日	
can-20160331-00001	2016/02/01	2016/02/09	

図 11 : ページブロックの表示モードによる出力の違い

Salesforce レイアウトの特徴とページブロックの出力タイプの違いについて理解ができたので、早速 SkyVisualEditor VF の様々な機能を駆使しながら、求人情報画面と人材情報画面を作成していきましょう。まずは、求人情報画面を作成しながら SkyVisualEditor VF の基本的な操作方法を学習します。

## 入力項目の配置

求人情報画面として、入力項目を並べた編集画面と、表示項目を並べた参照画面を作成しますが、SkyVisualEditor VF では編集画面をベースに参照画面を作成する方法が効率的です（詳細は後ほど学習します）。したがって、まずは編集画面を作成します。

1. Studio にログインします。
2. DE 組織にブラウザでログインします。
3. ファイルメニューの [新規] を選択します。
4. レイアウトマネージャが起動しますので、Salesforce レイアウトを選択します。
5. オブジェクトで [求人案件] を選択します。
6. Visualforce ページ名に “SVE\_HREdit” と入力します。
7. [OK] をクリックします。

OK をクリックすると、予め「ページブロック」と「ページブロックセクション」が 1 セット配置された状態の画面デザインデータが開きます。

ここで、Studio の構成について簡単に説明します。

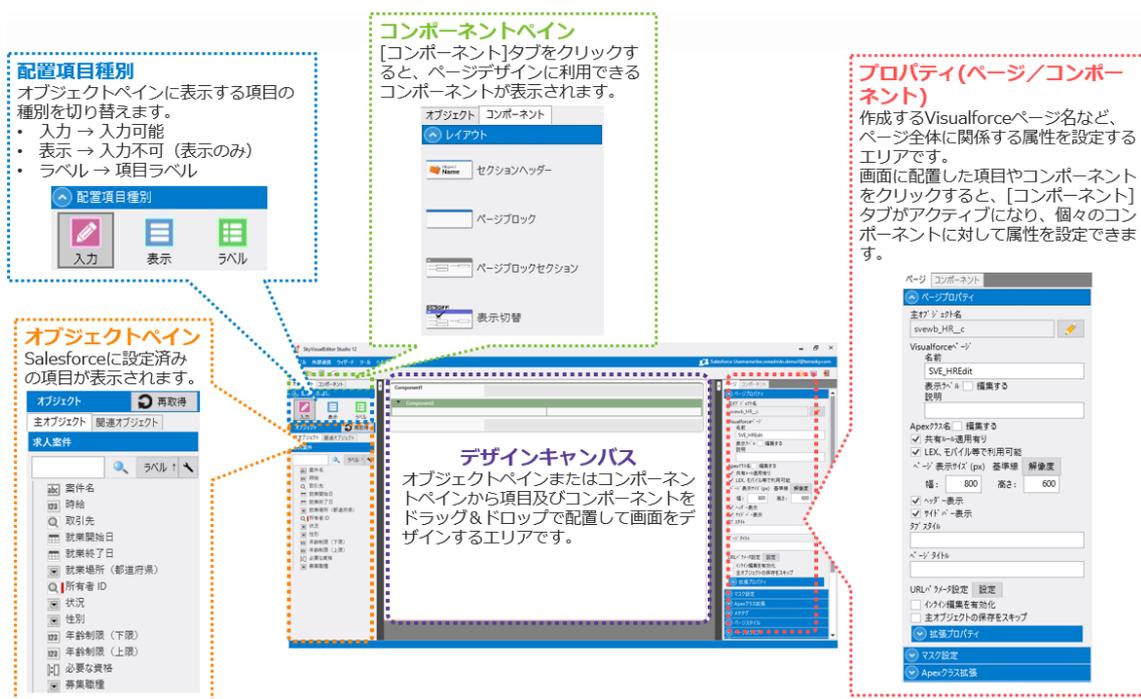


図 12 : Studio の構成

個々の機能の詳細は画面作成手順の中で説明しますので、ここでは割愛します。なお、詳細は[ヘルプサイト](#)でも確認できます。

引き続き入力項目を配置して画面をデザインしていきましょう。求人情報レコードを登録する際に必要な項目を入力項目として並べます。

1. 配置項目種別を [入力] に切り替え、オブジェクトペインに表示されている項目のうち、[所有者 ID] を除く全ての項目をページブロックセクション内にドラッグ & ドロップして配置します。
2. ページブロックセクションは最大 30 列まで設定が可能です。今回は 3 列でレイアウトします。キャンバスエリア内のページブロックセクションをクリックすると [列追加 / 列削除] のフローティングパレットが表示されます。[列追加] をクリックして 3 列目を追加します。
3. 以下を参考にして項目をドラッグ & ドロップで並び替えます。

Component1		
Component2		
取引先	案件名	状況
募集職種	就業場所 (都道府県)	性別
就業開始日 [9999/99/99]	就業終了日 [9999/99/99]	時給
年齢制限 (上限)	年齢制限 (下限)	必要な資格

- 1 列目 : 取引先、募集職種、就業開始日、年齢制限 (上限)
- 2 列目 : 案件名、就業場所 (都道府県)、就業終了日、年齢制限 (下限)
- 3 列目 : 状況、性別、時給、必要な資格

**Tips :**

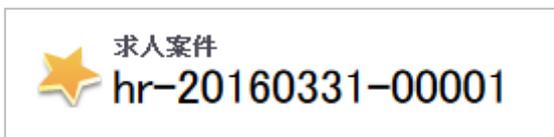
- ✧ オブジェクトペインの項目は Ctrl キーを押した後、押し続けながら選択することで複数選択し、一括でキャンバスエリアにドラッグ&ドロップすることができます。

入力項目の配置が完了しました。

ここで先に進む前に、一旦画面デザインデータを保存します。Studio はクラウドサービスのため、ネットワークトラブル等によりセッションが切断された場合、保存していない変更データは失われてしまいます。[ファイル] メニューの [保存] をクリックしてこまめに保存を行いましょ。なお、[保存] は Studio サーバ内にデザインデータを保存するのみで、接続している Salesforce 組織へのデータ保存は行いません。

## コンポーネントの配置

Salesforce の標準レイアウトには画面上部にオブジェクトアイコンとオブジェクト名、レコード名（Name 項目の値）が表示される部分があります。



※レコード名は編集時に表示されます（新規登録時には表示されません）。

この部分を構成するコンポーネントを画面に配置しましょう。

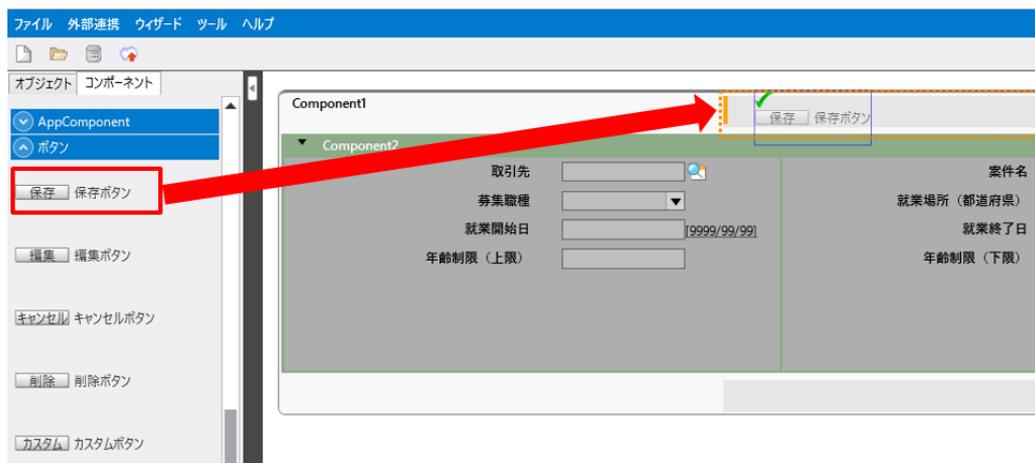
1. コンポーネントタブをクリックしてコンポーネントペインをアクティブにします。
2. レイアウトセクションの中から [セクションヘッダー]（一番上）を配置済みのページブロックの上にドラッグ&ドロップします。

### Tips :

◇ コンポーネントペイン内でマウスオーバーすると、コンポーネント名がツールチップで表示されます。本ガイドブック中に記載されたコンポーネント名がわからない場合は、マウスオーバーして確認してください。

次に、入力が完了した際に保存するためのボタンと、入力を取り消すキャンセルボタンを配置します。

1. コンポーネントタブをクリックしてコンポーネントペインをアクティブにします。
2. ボタンセクションの中から [保存] ボタンをページブロックのボタン表示領域にドラッグ&ドロップします。



3. 同様に、[キャンセル] ボタンも配置します。

**Tips :**

- ◇ ページブロックのプロパティ [ボタン表示領域] では、ボタンを表示する箇所を “非表示”、“上下”、“上のみ”、“下のみ” に設定できます。
- ◇ ボタンのラベルはプロパティから変更可能です。[値を編集する] にチェックを入れると値を変更できます。
- ◇ ボタンの表示幅をラベルの長さに応じた可変サイズにしたい場合は、プロパティの [幅指定有り] のチェックを OFF にします。

## コンポーネントプロパティの設定

より入力しやすい画面にするために、画面に配置済みのコンポーネント（入力項目、ページブロック、ページブロックセクション、セクションヘッダー）のプロパティを設定します。

日付項目の右側には「本日日付リンク」がデフォルト表示されます。こちらは日付項目の値=レコード作成日とする場合には大変便利な機能ですが、求人案件レコードを作成する当日が就業開始日/就業終了日となることは現実的ではないため、SVE\_HREdit では非表示にします。

1. 就業開始日の入力エリアをクリックします。
2. コンポーネントプロパティの [本日日付リンク表示] のチェックを OFF にします。
3. 就業終了日の入力エリアをクリックします。
4. コンポーネントプロパティの [本日日付リンク表示] のチェックを OFF にします。

**Tips :**

- ◇ キャンバスエリアに配置した項目は Ctrl キーを押しながら選択することで複数選択し、共通するプロパティをプロパティエリアから一括で設定することができます。

性別は選択肢が “男性/女性” であり、“なし” は選択しません。今回はこの項目をラジオボタン化し、[なし] の表示を外します。

1. 性別の入力エリアをクリックします。
2. コンポーネントプロパティの [ラジオボタン化] のチェックを ON にします。
3. その下の [「なし」を表示] のチェックを OFF にします。

ページブロックのラベルがデフォルトの “Component1” のままとなっていますので、“求人案件” に変更します。

1. ページブロックをクリックします。
2. コンポーネントプロパティの [タイトル] を “求人案件” に修正します。

ページブロックセクションも同様に、“Component2” 部分を “詳細情報” に変更します。

1. ページブロックセクションをクリックします。
2. コンポーネントプロパティの [タイトル] を “詳細情報” に修正します。

皆さんは既に「[ページブロックの表示モードによる出力の違い](#)」にてページブロックの出力タイプの違いを学習しています。実際に SVE\_HREdit のページブロックに表示モードを適用してみましょう。

1. ページブロックをクリックします。
2. コンポーネントプロパティの [表示モード] を “edit” に変更します。

以上で、コンポーネントプロパティの設定が完了しました。この段階で Salesforce にデプロイして、実際の画面（Studio から生成された Visualforce ページ）を確認してみましょう。

1. ファイルメニューの [デプロイ] をクリックします。
2. デプロイ確認ダイアログで [テスト環境] を選択し、[デプロイ] をクリックします。
3. デプロイが成功すると、デプロイ完了ダイアログが開きますので、Visualforce ページ名の [ページを開く] リンクをクリックします。

Salesforce にログインしていない場合はログイン画面に遷移しますので、DE 組織にログインして画面を確認してください。

#### Tips :

◇ デプロイ先をテスト環境にするか本番環境にするかにより、Apex クラスのテスト実行方法が異なります。詳細はヘルプを参照してください。

<https://doc.terraSky.com/pages/viewpage.action?pageId=10003055>

開いた画面で実際にデータを入力して保存し、レコードを作成してください。レコードを作成したら、このレコードを使用してもう一度画面を開きます。

1. 求人案件レコードを Salesforce 標準レイアウトで開きます。
2. URL の末尾 15 桁のレコード ID の前に、以下を追加して開きます。  
apex/SVE\_HREdit?id=

## ページプロパティの設定

Studio に戻り、さらに視認性を高める工夫を SVE\_HREdit に施していきましょう。

画面を開いた際、ブラウザのタブには “Salesforce - Developer ...” や “Edit Page - SVE\_HREdit”（開発モードが ON の場合）が表示され、画面の識別がつきにくくなっています。



こちらの内容を任意の文字列に変更する設定を行います。更に、いまどの項目に入力カーソルがフォーカスしているのかわかりやすくするために、フォーカス色の設定も行います。

1. ページプロパティの [ページタイトル] に “求人案件の編集” と入力します。
2. 同じくページプロパティの [フォーカス色] セクションを開き、“フォーカス色の有効化” を ON にします。色は Pink と Blue から選べますので、任意の色を選択してください。

## マージフィールドを使用した表示テキストの動的表示設定

セクションヘッダーのレコード名には Name 項目の値が表示されますので、Name 項目が自動採番項目の場合、レコードの内容がわかりづらくなってしまいます。



SkyVisualEditor VF では、レコード名表示部分に Name 以外の項目値を表示させることが可能です。今回は “レコード名：案件名（募集職種）” という内容に変更します。

1. セクションヘッダーをクリックします。
2. [値を編集する] を ON にします。
3. [サブタイトル] の “レコード名” を以下の様に修正します。  
`{!record.Name} : {!record.Title__c} ({!record.Jobcategory__c})`

図 13 : デプロイ後のセクションヘッダー

マージフィールドは様々な箇所で利用可能です。例えば、前項で設定したページタイトルにも使用することができます。

1. ページプロパティをアクティブにします。
2. [ページタイトル] の“求人案件の編集”を以下の様に修正します。  
求人案件の編集 : {!record.Name}

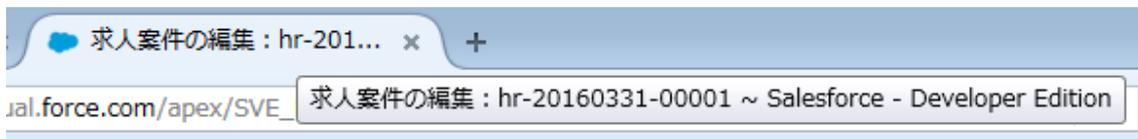


図 14 : デプロイ後のページタイトル

#### Tips :

- ◇ マージフィールドはカスタム表示ラベルを指定することも可能です。記述方法は以下のとおりです。  
{!\$Label.カスタム表示ラベル名}

## データテーブルの設定

さて、ここで今一度 TS スタッフング株式会社の顧客要件と SkyVisualEditor による実装方法について振り返りましょう。

関連リストを画面遷移なく追加・編集・一括操作可能にする。

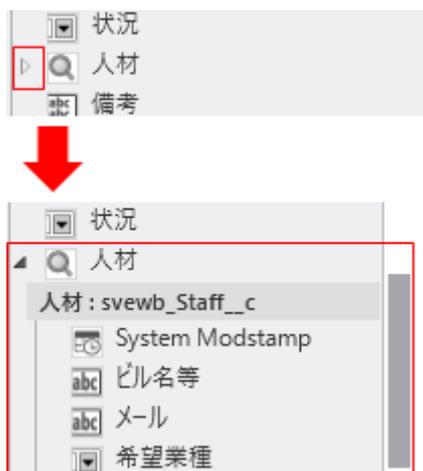
子オブジェクトである「紹介」のレコードを求人案件の編集画面から追加や編集できるようにする必要がありますので、SVE\_HREdit にデータテーブルを追加します。

1. コンポーネントタブのレイアウトセクションから [ページブロック] をデザインキャンバスの最下部にドラッグ&ドロップします。
2. ページブロックのタイトルを “紹介” に変更します。
3. コンポーネントタブのレイアウトセクションから [データテーブル] をページブロック内にドラッグ&ドロップします。
4. テーブル設定ダイアログの [オブジェクト] で “紹介:sviewb\_Candidate\_\_c” を選択します。
5. [列数] を “9” に変更します。
6. [表示機能設定] エリアの [一括編集][選択削除] を ON にします。
7. [OK] をクリックします。
8. オブジェクトタブをアクティブにし、関連オブジェクトタブで “紹介:sviewb\_Candidate\_\_c” を選択します。
9. 配置項目種別を “入力” にし、項目をデータテーブル内にドラッグ&ドロップします。
  - 1 列目： 人材  
(2～4 列目には配置しない)
  - 5 列目： 状況
  - 6 列目： 紹介日
  - 7 列目： 面談日
  - 8 列目： 確定日
  - 9 列目： 備考配置した項目を他の列に移動したい場合は、項目のヘッダー部分をドラッグ&ドロップして入れ替えて下さい。

データテーブルの 2 列目から 4 列目は人材レコードの項目値を表示させるためにわざと空けてあります。SkyVisualEditor VF では親の項目を表示項目として配置することができますので、Salesforce 上で数式項目を作成することなく SVE\_HREdit 内に人材の項目を配置することができます。

1. 配置項目種別を “表示” に切り替えます。

2. 人材の左側にある三角のアイコンをクリックし、展開します。



3. 展開した項目から該当のものをドラッグ & ドロップでデータテーブルに配置します。
- 2 列目： 人材名
  - 3 列目： 現在の就業状況
  - 4 列目： 電話

データテーブルの設定が完了したら、デプロイして画面を確認してください。



図 15 : 完成イメージ (求人情報編集画面)

以上で求人情報編集画面のデザインが一通り終わりました。まだ数点実装ポイントが残っていますが、ここでひとまず人材情報編集画面の作成に移りましょう。人材情報編集画面を作成しながら SkyVisualEditor VF の操作方法について更に理解を深めてください。

## ページレイアウト取得

求人情報画面は [ファイル] メニューの [新規] で Salesforce レイアウトを選択し、1 から画面を作成していきました。しかし、項目数が多いオブジェクトの場合 1 から作成するのは時間がかかります。Salesforce レイアウトを利用した画面を作成する場合、既存の Salesforce 標準レイアウトをデザインデータとして取り込むことができます。今回はこの機能を利用して人材情報画面を作成します。

1. [ファイル] メニューの [ページレイアウト取得] をクリックします。
2. オブジェクトで [人材] を選択します。
3. レコードタイプで [マスタ] を選択します。

### Tips :

✧ レコードタイプが設定されているオブジェクトを選択すると、マスタの他にレコードタイプ名が選択可能になります。選択したレコードタイプがページレイアウト取得の対象レイアウトになります。

取得に成功すると、以下のコンポーネントが自動で配置されていることが確認できます。

- ・ ページブロック
- ・ ページブロックセクション
- ・ 入力項目
- ・ データテーブル（紹介）
- ・ 関連リスト（活動予定、活動履歴、メモ&添付ファイル）

求人情報画面を作成した時はレイアウトマネージャで Visualforce ページ名を設定しましたが、ページレイアウト取得で生成したデザインデータは Studio が自動で Visualforce ページ名を設定しています。Visualforce ページ名の修正はページプロパティで行います。

1. ページプロパティの [Visualforce ページ 名前] を “SVE\_StaffEdit” に修正します。
2. ファイルメニューの [保存] を選択して保存します。

次に、求人情報画面で学習した機能を利用して画面をデザインしていきます。

1. セクションヘッダーを配置します。
2. すべての日付項目の本日日付リンクを非表示にします。
3. 所有者 ID はログインユーザを自動入力させるため、画面から削除します。削除は Delete キー押下、右クリックの削除、オブジェクト/コンポーネントペインヘドラッグ&ドロップのいずれかを操作します。
4. 最終学歴をラジオボタン化し、“なし” を非表示にします。

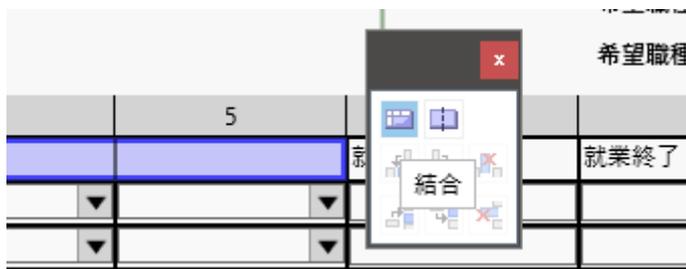
5. ページブロック（人材）の表示モードを“edit”にします。
6. 情報セクションの列を追加します。
7. 郵便番号、都道府県、市区郡、町名番地、ビル名等を3列目に移動します。
8. メールを2列目の1番上に移動します。
9. 不要な空白スペースを削除します。
10. ページタイトルに“人材の編集：{!record.Name}”と入力します。
11. フォーカス色を有効化します。
12. 紹介データテーブルの1列目を右クリックし、[列追加]を選択します。
13. 同様に操作し、紹介番号から紹介日の間に新規列を4列設定します。
14. 紹介データテーブルの2列目に、求人案件の取引先を配置します。
15. 同様に、3～5列目に求人案件の案件名、募集職種、就業開始日を配置します。
16. 人材画面からは紹介レコードは作成しないので、行追加ボタンを外す設定をします。  
データテーブル（“件数”の横あたり）をクリックし、データテーブルを選択します。
17. データテーブルのプロパティから[行追加ボタン有り]をOFFにします。

## パネルグリッドによる整形

職歴／学歴セクションには直近3社の職歴を入力するための項目が配置されています。職歴1,2,3で共通の項目があり、それらが縦に並んでいることで冗長な画面構成の原因となっています。これらの項目を[パネルグリッド]コンポーネントで整形し、視認性の高いデザインにしてみましょう。

1. コンポーネントペインのレイアウトセクションから、[パネルグリッド]を職歴／学歴セクションとスキル情報セクションの間にドラッグ&ドロップします。
2. パネルグリッド設定ダイアログが開きますので、行数を4、列数を7に設定し、[OK]をクリックします。
3. コンポーネントペインのアイテムセクションから、[自由テキスト]を配置したパネルグリッドの2行1列目にドラッグ&ドロップします。
4. 配置した自由テキストをダブルクリックもしくはコンポーネントプロパティの[値]のボタンをクリックし、“職歴1”に修正します。
5. 3行1列目、4行1列目も同様に自由テキストを配置し、値を“職歴2”“職歴3”に修正します。
6. 1行2列目に自由テキストを配置し、値を“会社名”に修正します。
7. 1行3列目、1行4列目、1行6列目、1行7列目も同様に自由テキストを配置し、値を“業種”“職種”“就業開始”“就業終了”に修正します。1行5列目には何も配置しないでください。
8. 職歴／学歴セクションに配置されている職歴1会社名を2行2列目にドラッグ&ドロップします。（項目ラベルは自動的に解除されます。）
9. 同様に、他のセルに残りの項目を配置します。5列目には職種小区分を配置してください。

10. 自由テキスト（職種）が配置されている 1 行 4 列目と 1 行 5 列目をドラッグして選択します。
11. フローティングウィンドウの左上の [結合] をクリックし、セルを結合します。



パネルグリッドの外観は以下の設定がデフォルトです。

- ・ 横位置： 左
- ・ 縦位置： 上
- ・ 背景色： なし
- ・ 線種： 実線
- ・ 線色： 黒（#000000）

上記設定はコンポーネントプロパティから変更が可能です。

行タイトル／列タイトル部分の背景色と全体の線色をカスタマイズしてみましょう。

1. セルの 1 行 1 列目から 1 行 7 列目をドラッグして選択します。
2. コンポーネントプロパティの [背景色] から任意の色をパレットから選択します。色コードを直接記述することで、パレット以外の色を指定することも可能です。
3. セルの 2 行 1 列目から 4 行 1 列目をドラッグして選択します。
4. コンポーネントプロパティの [背景色] から任意の色をパレットから選択します。
5. 1 行 1 列目をダブルクリックして、パネルグリッドを選択します。
6. コンポーネントプロパティの [線色] で任意の色を設定します。
7. 1 行 1 列目から 4 行 7 列目をドラッグして全てのセルを選択します。
8. コンポーネントプロパティの [線色] をパネルグリッドの線色と同じ設定にします。

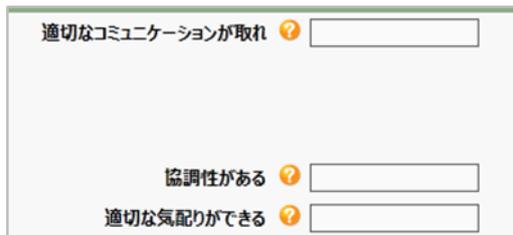
#### Tips :

- ◇ その他、セル内の位置設定やセルパディング、セルスペース等様々な設定が可能です。
- ◇ 例えば、セルパディングに 3 と入力すると、セル内余白を上下左右に 3px ずつ持たせることができます。個別のセルに対する余白設定や、上下左右の個別設定を行いたい場合は [追加スタイル] にインラインスタイルを記述することができます。

これで共通項目をすっきりと表示できました。職歴／学歴セクションに残っている空白スペースは不要なので、削除しておきましょう。

## 入れ子にしたページブロックセクションによる整形

スキル情報セクションには 2 列目に複数選択リスト項目（保有資格）があり、1 列目の 1 項目と 2 項目目の間が間延びしています。



この余分なスペースを詰めて表示したいので、ページブロックセクションを入れ子にして整形します。

1. コンポーネントペインからページブロックセクションをスキル情報セクションの 1 列目にドラッグ & ドロップします。
2. 列数を “1” に指定します。



3. 追加したページブロックセクションのプロパティで [ヘッダー表示有り] を OFF にします。
4. スキル情報セクションの 1 列目の 5 項目を、追加したページブロックセクション内に移動します。

## 計算式の設定

スキル情報セクションの 1 列目に配置している 5 項目は、人材のスキルレベルを評価項目ごとに 0～10 の数値でスコアリングする数値項目です。5 つの評価項目の合計値は数式項目で計算されています。数式項目はレコードを保存しないと再計算されないため、入力しながら合計値を確認するための項目としては利用できません。

そこで、SkyVisualEditor VF の計算式機能を利用し、入力しながら合計値が確認できる機能を設定します。

計算式を利用するには、計算結果を表示させるための入力項目（数値型、通貨型、パーセント型）もしくは [計算結果] コンポーネントを画面に予め配置しておく必要があります。今回は [計算結果] コンポーネントを利用します。

1. コンポーネントペインのアイテムセクションから [計算結果] をスキル情報セクションの 1 列目最下部にドラッグ & ドロップします。
2. “calcResult” と書かれたラベルをクリックし、コンポーネントプロパティの [値] を “評価総合点数” に修正します。

次に設定する計算式で利用しやすいように、計算結果入力項目の ID を変更しておきます（これは必ずしも計算結果コンポーネントの利用にあたり必要な設定ではありません）。

1. “評価総合点数” ラベルの右の入力項目をクリックします。
2. コンポーネントプロパティの [ID] を “SumEvalPoint” に修正します。

次に、計算式の設定を行います。

計算式には 3 つの計算処理方法が準備されています。

主オブジェクト計算式	画面に配置した主オブジェクトの入力項目（数値型、通貨型、パーセント型）及び固定値を利用して、四則演算設定ができます。計算結果は主オブジェクトの入力項目（数値型、通貨型、パーセント型）または [計算結果] コンポーネントに出力することができます。
集計計算式	データテーブルに配置した関連オブジェクトの入力項目（数値型、通貨型、パーセント型）を集計して、主オブジェクトの入力項目（数値型、通貨型、パーセント型）または [計算結果] コンポーネントに出力することができます。
関連オブジェクト計算式	データテーブルに配置した関連オブジェクトの入力項目（数値型、通貨型、パーセント型）及び固定値を利用して、四則演算設定ができます。計算結果は関連オブジェクトの入力項目（数値型、通貨型、パーセント型）に出力することができます。

今回は人材オブジェクトの項目を集計するので、主オブジェクト計算式を使用します。

1. ページプロパティの [計算式] セクションをクリックし、展開します。

2. [計算式の編集] をクリックします。
3. 主オブジェクト計算式セクションの [追加] をクリックします。
4. “=” の右のプルダウンから “SumEvalPoint” を選択します。
5. [編集] をクリックします。
6. 項目リストで項目を 1 つクリックします。
7. [+] をクリックします。
8. 残りの 4 つの項目も同様に設定します。
9. [完了] をクリックします。
10. [OK] をクリックして、計算式の設定を終了します。

以上で、編集画面のデザインが完了しました。デプロイして動作を確認してみましょう。

求人・人材管理 アプリケーション

検索

SVE試験 管理者 設定 ヘルプ & トレーニング [SVEWEB]人材紹介

ホーム Chatter 取引先 求人案件 人材 紹介

人材 佐藤 秀子

人材 保存 キャンセル

情報 ⓘ = 必須情報

人材名 佐藤 秀子 メール svecert@workbook 郵便番号 1000027  
 誕生日 1980/10/01 電話 03-0000-0000 都道府県 東京都  
 性別 女性 携帯 090-9999-9999 市区郡 中央区  
 町名番地 日本橋1-3-13  
 ビル名等 東京建物日本橋

希望条件

就業開始可能日 2016/04/01 希望業種 情報処理・提供  
 希望勤務地(第一希望) 東京都 希望職種(第一希望) OA事務  
 希望勤務地(第二希望) 埼玉県 希望職種(第二希望) 秘書  
 希望勤務地(第三希望) 神奈川県 希望職種(第三希望) インサイドセール

履歴/学歴

現在の就業状況 就業中 最終学歴 ○大学院卒(ドクター) ○大学院卒(マスター) ○大学卒 ●短大卒 ○高校卒 ○高専卒 ○中卒

履歴	会社名	業種	職種	就業開始	就業終了
履歴1	〇〇株式会社	商業	一般事務	OA事務	2010/04/01 2016/03/31
履歴2	△△株式会社	不動産	一般事務	総務事務	2005/04/01 2010/03/31
履歴3	有限会社□□	ソフトウェア	一般事務	営業事務	2000/04/01 2005/03/31

スキル情報

適切なコミュニケーションが取れる 10  
 協調性がある 9  
 適切な気配りができる 8  
 積極的な話ができる 7  
 発言に終始一貫性がある 6

保有資格

選択可能  
 公認会計士  
 税理士  
 司法書士  
 行政書士  
 システム監査技術者  
 ITストラテジスト  
 プロジェクトマネージャ  
 ネットワークスペシャリスト

選択済み  
 秘書検定  
 簿記

評価総合点

その他

備考

保存 キャンセル

紹介

件数: 1

紹介番号	取引先	案件名	募集職種	就業開始日	紹介日	面談日	確定日	状況	
can-20160331-00001	株式会社テラスカイ	テラスカイ様 一般事務派遣	OA事務	2016/04/01	2016/02/01	[ 2016/05/18 ]	[ 2016/02/09 ]	[ 2016/05/18 ]	紹介中

活動予定 新規 ToDo 新規行動

表示するしコードはありません

活動履歴 活動の記録 差し込み印刷 メールを送信

表示するしコードはありません

メモ & 添付ファイル 新規メモ ファイル添付

表示するしコードはありません

Copyright © 2000-2016 salesforce.com, inc. All rights reserved | プライバシーに関する声明 | セキュリティに関する声明 | 利用規約 | 508 単語

図 16 : 完成イメージ (人材情報編集画面)

## 参照画面作成

前項まで、案件情報編集画面と人材情報編集画面の 2 画面が作成できました。本項では、作成済みの編集画面から参照画面を作成する方法を学びます。

1. ファイルメニューから [開く] を選択します。
2. “SVE\_HREdit” を選択して [開く] をクリックします。
3. ツールメニューから [参照画面作成] を選択します。

4. [変換後 Visualforce ページ名] を “SVE\_HRView” に修正し、[OK] をクリックします。

上記手順により、入力項目が自動で表示項目へ変換された参照画面が自動生成されました。生成された画面をカスタマイズし、参照画面を完成させましょう。

1. 求人案件ページブロックの表示モードを “maindetail” に変更します。
2. 性別のラジオボタン化を OFF にします。
3. ページタイトルを “求人案件の詳細：{!record.Name}” に修正します。
4. デプロイします。

求人案件  
hr-20160331-00001: テラスカイ様\_一般事務派遣 (OA事務)

求人案件 [編集] [削除] [キャンセル]

詳細情報

取引先	株式会社テラスカイ	案件名	テラスカイ様_一般事務派遣	状況	マッチング中
募集職種	OA事務	就業場所(都道府県)	東京都	性別	女性
就業終了日	2016/06/30	就業開始日	2016/04/01	時給	¥1,200
年齢制限(上限)	60	年齢制限(下限)	18	必要な資格	

[編集] [削除] [キャンセル]

紹介

選択削除 件数: 2

<input type="checkbox"/>	人材	人材名	現在の就業状況	電話	状況	紹介日	面談日	確定日	備考
<input type="checkbox"/>	松岡弘美	松岡弘美	休職中	03-0000-0000		2016/05/23			
<input type="checkbox"/>	佐藤 秀子	佐藤 秀子	就業中	03-0000-0000		2016/05/23			

図 17 : 完成イメージ (求人情報参照画面)

同様に、人材参照画面も作成します。

1. ファイルメニューから [開く] を選択します。
2. “SVE\_StaffEdit” を選択して [開く] をクリックします。
3. ツールメニューから [参照画面作成] を選択します。
4. [変換後 Visualforce ページ名] を “SVE\_StaffView” に修正し、[OK] をクリックします。
5. 人材ページブロックの表示モードを “maindetail” に変更します。
6. 最終学歴のラジオボタン化を OFF にします。
7. 計算式を削除します。
8. 評価総合点数 (計算結果コンポーネント) を削除し、同じ位置に評価総合点数 (表示項目) を配置します。
9. ページタイトルを “人材の詳細：{!record.Name}” に修正します。
10. デプロイします。

ホーム 取引先 取引先責任者 本試験 受験 受験者検索 更新試験 レポート ダッシュボード コンテンツ ライブラリ Wiki +

人材  
佐藤 秀子

人材

情報

人材名	佐藤 秀子	メール	svescert@workbook.com	郵便番号	1030027
誕生日	1980/10/01	電話	03-0000-0000	都道府県	東京都
性別	女性	携帯	090-9999-9999	市区郡	中央区
				町名番地	日本橋1-3-13
				ビル名等	東京建物日本橋ビル7F

希望条件

就業開始可能日	2016/04/01	希望業種	情報処理・提供サービス
希望勤務地(第一希望)	東京都	希望職種(第一希望)	OA事務
希望勤務地(第二希望)	埼玉県	希望職種(第二希望)	秘書
希望勤務地(第三希望)	神奈川県	希望職種(第三希望)	インサイドセールス

職歴/学歴

現在の就業状況	就業中	最終学歴	短大卒			
会社名	業種	職種	就業開始	就業終了		
職歴1	〇〇株式会社	商業	一般事務	OA事務	2010/04/01	2016/03/31
職歴2	△△株式会社	不動産	一般事務	総務事務	2005/04/01	2010/03/31
職歴3	有限会社□□	ソフトウェア	一般事務	営業事務	2000/04/01	2005/03/31

スキル情報

適切なコミュニケーションが取れる	10	保有資格	秘書検定、簿記
協調性がある	9		
適切な気配りができる	8		
積極的に話ができる	7		
発言に終始一貫性がある	6		
評価総合点数	40		

その他

備考

紹介

件数:1

紹介番号	取引先	案件名	募集職種	就業開始日	紹介日	面談日	確定日	状況
can-20160523-00004	株式会社テラスカイ	テラスカイ様一般事務派遣	OA事務	2016/04/01	2016/05/23			

活動予定

表示するレコードはありません

活動履歴

表示するレコードはありません

メモ & 添付ファイル

アクション	種別	タイトル	最終更新	作成者
<a href="#">編集</a>   <a href="#">削除</a>	メモ	面談メモ	2016/05/18 16:45	SVE試験_管理者

図 18 : 完成イメージ (人材情報参照画面)

以上で参照画面の作成は完了です。

## 6. 自由レイアウトによる画面の実装

所要時間： 20～40 分

TS スタッフィング株式会社の要件の中に、スキルシートを Salesforce から直接出力したいという要件がありました。スキルシートは既に Excel でフォーマットが決まっており、運用されています。こちらのフォーマットをそのまま利用し、Salesforce の人材レコードを出力する画面を自由レイアウトで作成します。

### 自由レイアウトの特徴

自由レイアウトの最大の特徴は、各コンポーネントを好みの位置に配置できるということと、背景に画像を表示できるということです。今回のように、既存の帳票をそのまま活用して画面を作成する場合に威力を発揮するレイアウトです。

### 背景画像の設定

背景に利用したい帳票などがある場合、画像データで準備しておく必要があります。利用可能なフォーマットは以下のとおりです。

- ・ image/bmp
- ・ image/gif
- ・ image/jpeg
- ・ image/pjpeg
- ・ image/png
- ・ image/x-png

画像データが用意できたら、Salesforce の静的リソースにアップロードします。静的リソースの詳細ならびに利用方法は Salesforce のヘルプを確認してください。

[https://help.salesforce.com/HTViewHelpDoc?id=pages\\_static\\_resources.htm&language=ja](https://help.salesforce.com/HTViewHelpDoc?id=pages_static_resources.htm&language=ja)

今回は既に学習用パッケージに含まれる静的リソースを使用してスキルシート画面を作成します。

1. ファイルメニューの [新規] を選択します。
2. 自由レイアウトを選択します。
3. オブジェクトで [人材] を選択します。
4. Visualforce ページ名に “SVE\_Skillsheet” と入力します。
5. OK ボタンをクリックします。
6. ページプロパティの背景画像セクションを展開し、参照ボタンをクリックします。
7. “skillsheet” を選択して、[背景画像設定] をクリックします。

ここまでの手順で、背景画像を設定した画面が設定できました。引き続き項目を並べ、画面を完成させますが、この画面上ではデータの入力は行いませんので、すべて表示項目で配置します。配置箇所は以下を参考にしてください。

項目名	配置箇所
人材名	“氏名” の右側
年齢	“年齢” の右側
性別	“性別” の右側
都道府県	“自宅所在地” の右側
就業開始可能日	“就業開始可能日” の右側
最終学歴	“最終学歴” の右側
現在の就業状況	“現在の就業状況” の右側
職歴 1 会社名	“会社名” の 1 行目
職歴 2 会社名	“会社名” の 2 行目
職歴 3 会社名	“会社名” の 3 行目
職歴 1 業種	“業種” の 1 行目
職歴 2 業種	“業種” の 2 行目
職歴 3 業種	“業種” の 3 行目
職歴 1 職種小区分	“職種” の 1 行目
職歴 2 職種小区分	“職種” の 2 行目
職歴 3 職種小区分	“職種” の 3 行目
職歴 1 就業期間（開始）	“就業期間” の 1 行目、“～” の左側
職歴 2 就業期間（開始）	“就業期間” の 2 行目、“～” の左側
職歴 3 就業期間（開始）	“就業期間” の 3 行目、“～” の左側
職歴 1 就業期間（終了）	“就業期間” の 1 行目、“～” の右側
職歴 2 就業期間（終了）	“就業期間” の 2 行目、“～” の右側
職歴 3 就業期間（終了）	“就業期間” の 3 行目、“～” の右側
保有資格	“保有資格” の右側
適切なコミュニケーションが取れる	“適切なコミュニケーションが取れる” の右側塗りつぶし部分
協調性がある	“協調性がある” の右側塗りつぶし部分
適切な気配りができる	“適切な気配りができる” の右側塗りつぶし部分
積極的に話ができる	“積極的に話ができる” の右側塗りつぶし部分
発言に終始一貫性がある	“発言に終始一貫性がある” の右側塗りつぶし部分

“出力日” は出力する当日の日付（今日）を表示したいので、[本日日付] コンポーネントを利用しましょう。

1. コンポーネントペインから [本日日付] を “出力日” の右側にドラッグ & ドロップします。

配置後、コンポーネントプロパティで日付の書式等を変更できます。今回はデフォルトのままでも OK です。

#### Tips :

- ◇ 自由レイアウトは配置コンポーネントの位置揃えを補助するグリッド表示 / 吸着機能を備えています。詳細はヘルプを参照してください。

<https://doc.terraSky.com/pages/viewpage.action?pageId=10003294>

## PDF 化

スキルシートは最終的にクライアントへ提出する帳票なので、PDF に出力します。SkyVisualEditor VF では Visualforce の PDF レンダリング機能を利用して、PDF を出力することができます。

1. ページプロパティの PDF セクションを展開し、[PDF 化] を ON にします。
2. [用紙の向き] を “横” に変更します。
3. デプロイします。

デプロイしたら、レコード ID を指定して画面を確認してみましょう。

出力日 : 2016-05-25

## スキルシート



**個人情報**

氏 名 : 佐藤 秀子  
 年 齢 : 35  
 性 別 : 女性  
 自宅所在地 : 東京都  
 就業開始可能日 : 2016/04/01

**キャリア情報**

最終学歴 : 短大卒  
 現在の就業状況 : 就業中  
 直近3社職歴 :

	会社名	業種	職種	就業期間
1	〇〇株式会社	商業	OA事務	2010/04/01 ~ 2016/03/31
2	△△株式会社	不動産	総務事務	2005/04/01 ~ 2010/03/31
3	有限会社□□	ソフトウェア	営業事務	2000/04/01 ~ 2005/03/31

**スキル情報**

保有資格 : 秘書検定:簿記  
 面談結果 :

・適切なコミュニケーションが取れる	10
・協調性がある	9
・適切な気配りができる	8
・積極的に話ができる	7
・発言に終始一貫性がある	6

図 19 : 完成イメージ (スキルシート)

## カスタムボタンからの呼び出し

前項で作成した PDF 画面 “SVE\_Skillsheet” は人材の参照画面から出力しますので、出力するためのボタンを人材参照画面に設定します。

1. “SVE\_StaffView” を開きます。
2. コンポーネントペインのボタンセクションから [カスタム] をキャンセルボタンの右側にドラッグ & ドロップします。
3. コンポーネントプロパティの [値] を “カスタム” から “スキルシート出力” に修正します。
4. [幅指定あり] を OFF にします。
5. [遷移先設定] のボタンをクリックします。
6. URL エディタが開くので、“Visualforce ページへ” を選択します。
7. プルダウンから “SVE\_Skillsheet” を選択します。
8. [?ID={ID}] ボタンをクリックします。
9. 完了をクリックし、コンポーネントプロパティの [別ウインドウで開く] を ON にします。
10. デプロイします。

8 の手順で ID の指定を行わないと、レコード値の入らない空の PDF が出力されてしまいますので、必ず設定するようにしてください。

## 7. 検索テンプレートによる画面の実装

所要時間： 30～50 分

TS スタッフィング株式会社の要件のひとつとして、以下の要件が挙がっていました。

検索条件を動的に設定しながら検索し、検索結果を直接編集したい。

この要件を満たす機能として、「検索テンプレート」が利用可能です。今回は、紹介情報を検索し、検索結果を直接編集できる画面を作成します。

### 検索テンプレートの特徴

検索テンプレートは、Salesforce 標準のリストビューやレポートでは実現できない機能を有しています。リストビュー及びレポートとの比較を以下に示します。

	リストビュー	レポート	検索テンプレート
検索結果の表示	○	○	○
レコードの編集／一括編集	○	×	○ ※ ビューと比べてより多くの項目での編集が可能
複数データを参照しながらの新規レコードの追加	×	×	○
ヘッダー固定	○	○	○
検索条件の登録	○	○	○
1 画面上で検索条件の指定と検索結果の表示が可能	×	×	○
条件を都度指定した検索	×	○	○
親階層オブジェクトの項目を検索条件／結果に利用	×	○	○

検索テンプレートはウィザード形式で作成できるので、前章までで学習した Salesforce レイアウト・自由レイアウトより遥かに短時間で画面開発することが可能です。

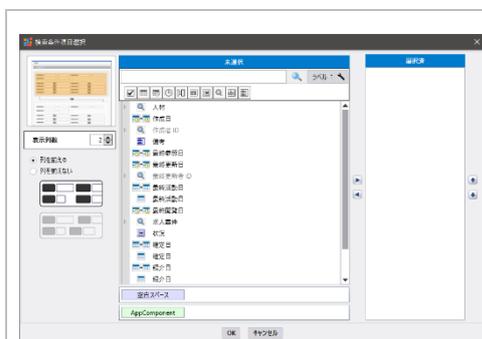
### ウィザードでの設定

では、早速以下の手順で紹介情報の検索画面を作成していきましょう。

1. ファイルメニューの [新規] を選択します。
2. [テンプレート] 検索画面を選択します。
3. オブジェクトで “紹介” を選択します。
4. Visualforce ページ名に “SVE\_CandidateSearch” と入力します。
5. [OK] をクリックします。

ここまで進むと、設定画面をウィザード形式で進めることができます。設定は以下の流れで行います。操作の詳細はヘルプも併せてご確認ください。

<https://doc.terra-sky.com/pages/viewpage.action?pageId=10002886>



#### 検索条件項目選択

検索画面上部に並び、検索条件項目を選択します。検索条件には親の項目も利用できます。



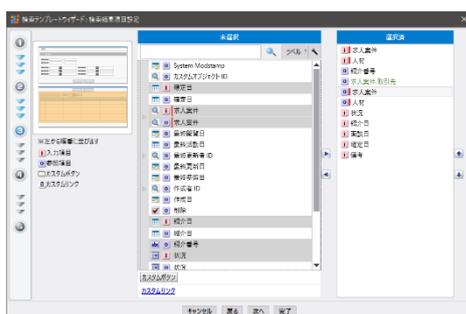
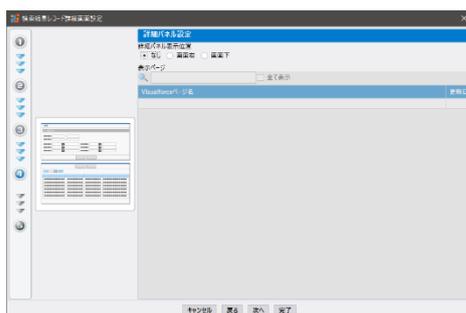
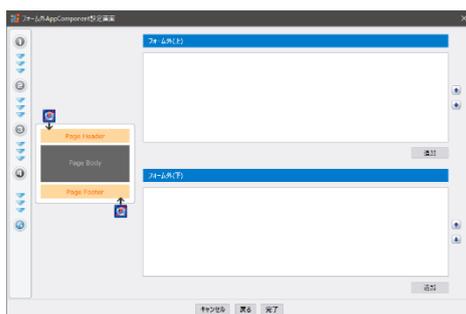
#### 検索条件項目設定

選択した検索条件項目の [複数指定] [デフォルト演算子] [演算子表示] を設定します。また、この画面で検索条件の追加設定も行います。



#### オブジェクトテーブル設定

テーブル種類、テーブル機能及びその他の設定を行います。

	<h3>検索結果項目設定</h3> <p>検索結果テーブルに出力する項目を設定します。前の画面で選んだテーブル種類に応じて、表示項目 and/or 入力項目が選択可能になります。</p>
	<h3>検索結果レコード詳細画面設定 (詳細パネルの設定)</h3> <p>検索結果の詳細画面を同一画面上に表示する [詳細パネル] を設定します。 (本ワークブックでは使用しません。)</p>
	<h3>フォーム外 AppComponent 設定画面</h3> <p>検索画面のフォーム外（検索条件項目エリアの上、または検索結果エリアの下）に配置する AppComponent を設定します。 (本ワークブックでは使用しません。)</p>

では実際に設定を続けましょう。

1. 検索条件項目選択画面で、次の項目を選択します。  
状況、求人案件の取引先、求人案件、人材、紹介日、面談日、確定日  
※求人案件の取引先は、SVE\_HREdit の紹介データテーブル作成時に親の項目を配置した手順と同様に、求人案件から選択してください。  
  
※日付項目は単日検索  と範囲検索 -ができます。今回は範囲検索を選択してください。
2. [表示列数] を “3” に変更します。
3. [空白スペース] を 2 回クリックします。
4. 選択済となった空白スペース 2 個を、“状況” の下に移動します。
5. [OK] をクリックします。

これで、検索条件項目として使用する項目の設定が完了しました。次に、状況（選択リスト項目）を OR 検索するための設定を行います。

1. ウィザード画面（検索条件項目設定）で、状況の [複数指定] を ON にします。
2. [デフォルト演算子] を “次の値を含む” に変更します。
3. [演算子表示] を OFF にします。

上記設定により、選択リスト値の OR 検索設定が完了しました。さらに、取引先（参照項目）も OR 検索できるように設定します。

1. ウィザード画面（検索条件項目設定）の [検索条件追加] をクリックします。
2. 求人案件の三角マークをクリックして展開し、取引先を選択します。
3. [OK] をクリックします。

取引先の OR 検索設定まで完了しました。次の画面のようになっていたら、検索条件項目の設定は成功です。



選択リスト項目の OR 検索は [複数指定] を ON に、それ以外の項目を OR 検索したい場合は、[検索条件追加] ボタンから項目を追加することを学習できました。

それでは、次にオブジェクトテーブル設定に進みます。

1. [次へ] をクリックし、オブジェクトテーブル設定に進みます。
2. テーブル種類選択で“複合テーブル”を選択します。複合テーブルは、検索結果に表示項目と入力項目の両方を含めることができる出力形式です。
3. テーブル機能で“行削除ボタン”“一括編集”“選択削除”“ページング”“テーブル内検索”を ON にします。紹介レコードは必ず求人案件画面から登録する運用になるため、“行追加ボタン”は OFF にしてください。

最後に、検索結果に表示する項目の選択をします。

1. [次へ] をクリックし、検索結果項目設定に進みます。
2. 以下の項目を選択します。「」は表示項目、「」は入力項目です。  
 : 紹介番号、求人案件.取引先、求人案件、人材  
 : 状況、紹介日、面談日、確定日、備考
3. [完了] をクリックします。

## ウィザード完了後の設定

ウィザードでは検索条件項目やテーブル種類、検索結果項目の設定が出来ました。ウィザード完了後も、各種設定をプロパティエリアから行うことができます。今回は、検索結果にマスク設定、絞込条件及び検索結果保持形式の設定を行います。

### マスク設定

マスク設定とは、保存や削除、テーブルの行レコード追加等の各ボタン押下時に、各入力項目の入力や他のボタン押下を出来ないようにする設定です。マスク設定を有効化すると、入力作業中の誤操作を防ぐことができます。

1. ページプロパティをアクティブにします。
2. [マスク設定] セクションを展開し、“ページマスク有効化”を ON にします。

### 絞込条件

検索結果を表示するテーブルには絞込条件及びソート条件を設定することが可能です。この機能を利用し、検索結果をログインユーザが所有するレコードで絞り込み、紹介日を昇順ソートする設定を行います。

1. 検索結果テーブルをクリックしてコンポーネントプロパティをアクティブにします。
2. [高度なテーブル機能] セクションの [絞込条件] ボタンをクリックします。
3. [次へ] をクリックします。
4. 検索条件の [追加] をクリックします。

5. 項目で“求人案件”を選択します。
6. 参照先項目で“所有者 ID”を選択します。
7. 演算子で“次の文字列と一致する”を選択します。
8. 値で [特別値] をクリックし、“ユーザーID : USER\_ID”を選択します。
9. ソート条件の [追加] をクリックします。
10. 項目で“紹介日”を選択します。
11. [完了] をクリックします。

#### Tips:

◇ 今回は主従関係の従側であるオブジェクト（紹介）の検索画面のため、検索条件の項目を主側のオブジェクト（求人案件）の所有者 IDとしています。

## 検索結果保持形式

検索結果保持形式は、検索結果項目数や検索結果レコードデータ量が多い画面で Salesforce のビューステートエラーを発生しにくくするための設定を行うことができます。検索結果保持形式による機能の比較を以下に示します。

形式	ページング	ソート	検索処理
クライアントサイド（デフォルト設定）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クライアント画面上で処理するため速い</li> <li>・変更データはページング後でも保存可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クライアント画面上で処理するため速い</li> <li>・複数項目のソートが可能</li> <li>・変更データはソート後でも保存可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表示データ量（項目数、レコード件数）が多いと View State エラーが発生する可能性有り</li> <li>・画面表示速度がクライアント端末の性能に影響される可能性がある</li> </ul>
サーバーサイド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバに通信し、メモリに保存しているデータを画面に表示する</li> <li>・変更データはページング後でも保存可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバに通信し、メモリに保存しているデータを画面に表示する</li> <li>・単一項目のソートが可能</li> <li>・変更データはソート後でも保存可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クライアントサイド方式よりも ViewState エラーが発生しにくく、テーブル機能が活かされた検索処理が実行可能。</li> </ul>

形式	ページング	ソート	検索処理
毎回クエリ実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバに通信し、クエリ実行して最新データを取得して画面に表示する。そのため速度は一番遅い</li> <li>変更データはページング前に保存する必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバに通信し、クエリ実行して最新データを取得して画面に表示する。そのため速度は一番遅い</li> <li>単一項目のソートが可能</li> <li>変更データはソート前に保存する必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎回画面表示に必要なデータのみ検索クエリを実行するため、ViewState エラーが非常に発生しにくい</li> </ul>

SVE\_CandidateSearch ではデータテーブルに絞込条件を設定しているためビューステートエラーが発生する可能性は少ないですが、紹介レコードを多数所有しているユーザが全件検索をしたことを想定し、検索結果保持形式を“サーバーサイド”に設定します。

1. 検索結果テーブルをクリックしてコンポーネントプロパティをアクティブにします。
2. 高度なテーブル機能セクションの [検索結果保持方式] を“サーバーサイド”に変更します。
3. [再描画範囲] を“データテーブル”に変更します。

以上で検索画面の設定は完了です。最後にページタイトルを設定し、画面をデプロイしておきましょう。

1. ページプロパティの [ページタイトル] に“紹介情報の検索”と入力します。
2. デプロイします。

デプロイしたら、検索結果に一致するレコードと一致しないレコードを登録し、動作確認してください。以下が完成イメージです。



図 20 : 完成イメージ (紹介情報検索画面)

## 8. カスタムルックアップテンプレートによる画面の実装

所要時間： 15～30 分

TS スタッフィング株式会社の以下要件を満たすために、さらなる実装を進めていきます。

- ・ 紹介レコード登録時の人材ルックアップ選択の際、人材の特定項目を検索条件にして求人にもマッチする人材を迅速に検索する。
- ・ 関連リストを画面遷移なく追加・編集・一括操作可能にする。

2 つめの要件は求人情報画面にデータテーブルを設置することで既に実装済みですが、複数の紹介レコードを一括で登録できるとより便利です。これらの要件は、SkyVisualEditor のカスタムルックアップテンプレートで実現が可能です。

### カスタムルックアップテンプレートの特徴

カスタムルックアップテンプレートは、高度なルックアップ画面をウィザード形式で作成できるテンプレートです。検索テンプレートの様に、複数の検索条件項目を設定できるため、Salesforce 標準のルックアップより高度な検索を行うことができます。また、複数レコードをまとめて呼び出し元画面に設定することもできるため、データテーブル 1 行ずつにルックアップの指定を行わず一括でレコードを登録することができるようになります。

### ウィザードでの設定

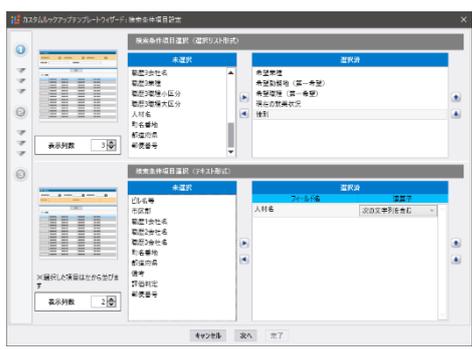
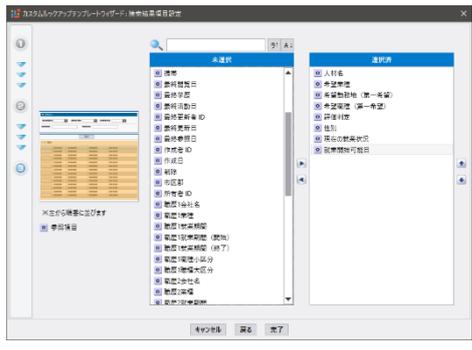
はじめに、紹介レコード登録時の人材ルックアップ選択の際に起動するカスタムルックアップ画面（単一コード選択画面）を作成します。

1. ファイルメニューの [新規] を選択します。
2. [テンプレート] カスタムルックアップを選択します。
3. オブジェクトで “人材” を検索します。
4. Visualforce ページ名に “SVE\_StaffLookupsingle” と入力します。
5. [OK] をクリックします。

ここまで進むと、設定画面をウィザード形式で進めることができます。設定は以下の流れで行います。

操作の詳細はヘルプも併せてご確認ください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10002929>

	<p><b>検索条件項目選択</b></p> <p>選択リスト形式かテキスト形式で検索条件項目を配置します。</p>
	<p><b>オブジェクトテーブル設定</b></p> <p>テーブル機能とレコード選択形式を設定します。</p>
	<p><b>検索結果項目設定</b></p> <p>検索結果テーブルに出力する項目を設定します。</p>

では実際に設定を続けましょう。

1. 検索条件項目設定画面で、次の項目を選択します。  
 選択リスト形式：  
 希望業種、希望勤務地（第一希望）、希望職種（第一希望）、現在の就業状況、性別  
 テキスト形式：  
 人材名
2. [次へ] をクリックします。
3. オブジェクトテーブル設定はデフォルトのまま（ページングなし、テーブル内検索なし、単一レコード選択）とし、[次へ] をクリックします。

4. 検索結果項目設定画面で、次の項目を選択します。  
人材名、希望業種、希望勤務地（第一希望）、希望職種（第一希望）、評価判定、性別、現在の就業状況、就業開始可能日
5. [完了] をクリックします。

これで、カスタムルックアップ画面（単一レコード選択画面）の設定が完了しました。後ほど SVE\_HREdit から呼び出す設定を行いますので、デプロイしておきます。

次に、複数レコードをまとめて呼び出し元画面に設定するカスタムルックアップ画面（複数レコード選択画面）を作成します。レコード選択形式以外は SVE\_StaffLookupSingle と同じなので、別名保存機能を利用して作成を効率化します。

1. ファイルメニューの [別名保存] を選択します。
2. Visualforce ページ名に “SVE\_StaffLookupMulti” と入力します。
3. [OK] をクリックします。
4. ウィザードメニューの [ウィザードに戻る] を選択します。
5. [次へ] をクリックします。
6. オブジェクトテーブル設定画面のレコード選択で、“複数レコード選択” に変更します。
7. [完了] をクリックします。

以上でカスタムルックアップ画面（複数レコード選択画面）の設定が完了しました。こちらも後ほど SVE\_HREdit から呼び出す設定を行いますので、デプロイしておきます。

## 呼び出し元画面の設定 1（単一レコード選択画面）

カスタムルックアップ画面は SkyVisualEditor VF で作成した画面から呼び出す必要があります。作成した SVE\_StaffLookupSingle を SVE\_HREdit から呼び出す設定を行いましょ。

1. SVE\_HREdit を開きます。
2. 紹介データテーブル内に設置した人材の入力エリアをクリックします。
3. コンポーネントプロパティのルックアップ取得セクションから [カスタムルックアップ画面選択] をクリックします。
4. SVE\_StaffLookupSingle を選択し、[OK] をクリックします。

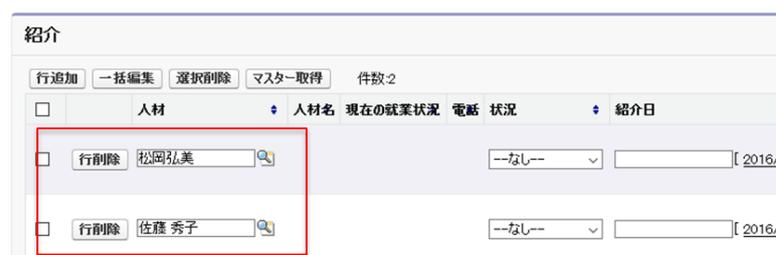
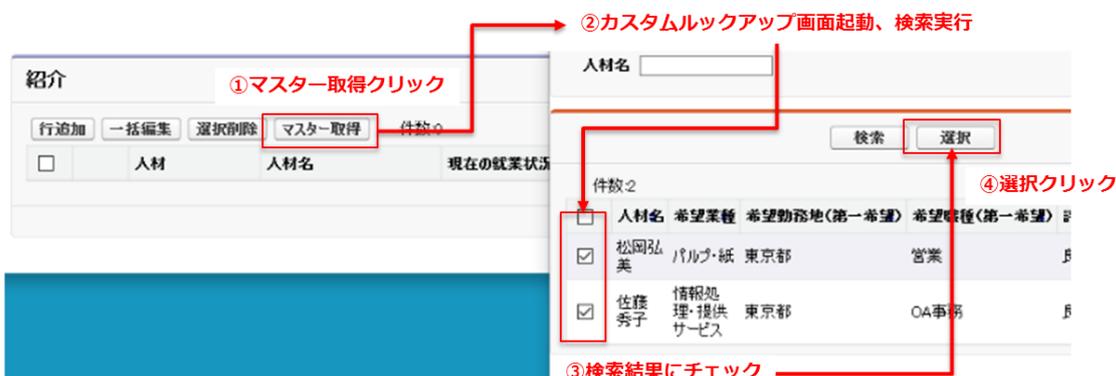
## 呼び出し元画面の設定 2（複数レコード選択画面）

複数レコード選択画面も単一レコード選択画面同様、SkyVisualEditor VF 画面から呼び出す必要がありますが、設定方法は単一レコード選択画面と異なります。SVE\_StaffLookupMulti を SVE\_HREdit から呼び出す設定を行い、その方法を学びましょ。

1. SVE\_HREdit を開きます。
2. 紹介データテーブル（"件数" の横あたり）をクリックし、データテーブルを選択します。
3. コンポーネントプロパティのカスタムルックアップセクションの、[ルックアップ対象項目] で "人材 : Staff\_\_c" を選択します。
4. [カスタムルックアップ画面選択] が選択できるようになるので、SVE\_StaffLookupMulti を選択して [OK] をクリックします。

データテーブルの [選択削除] ボタンの右側に [マスター取得] ボタンが新しく設置されたことが確認できると思います。このボタンが、複数の人材を一括で紹介レコードに登録する機能を実現するものとなります。

実際に SVE\_HREdit をデプロイして、挙動を確認してみてください。



チェックを入れた人材が紹介レコードに紐付いて追加された

## 9. Dashboard レイアウトによる画面の実装

所要時間： 30～50 分

TS スタッフィング株式会社の要件で、マニュアルを見なくてもスムーズに操作できるよう、Salesforce 上に手順を載せたいというものがありません。Dashboard レイアウトを使用すると、オブジェクトに依存しないコンポーネントを配置した画面を作成することができますので、こういった要件に最適です。

### Dashboard レイアウトの特徴

Dashboard レイアウトは、表形式でのレコード表示や画像、AppComponent 等を 1 画面に配置した画面を作成することができます。Salesforce のホームタブに近いイメージです。

### コンポーネントの配置

Dashboard レイアウトにコンポーネントを配置してマニュアル画面を作成する前に、TS スタッフィング株式会社のオペレーションフローと関連するアクションをまとめておきましょう。



上記のフロー図を Dashboard レイアウトで画面化し、クリックすると次のアクションに最適な画面へ遷移するリンクと、必要なレコードを表示するリストを実装します。

1. ファイルメニューの [新規] を選択します。
2. レイアウトマネージャから [Dashboard レイアウト] を選択します。
3. Visualforce ページ名に “SVE\_Manual” と入力します。

4. [OK] をクリックします。
5. Dashboard レイアウトのテンプレート選択画面が起動します。こちらではフレキシブルパネルのレイアウトを選択します。デフォルトの 2 列のまま [OK] をクリックします。

**Tips :**

◇ フレキシブルパネルは Dashboard レイアウトで複数のコンポーネントを複数列に配置するための下地に利用するコンポーネントです。詳細はヘルプを参照してください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10003161>

上記まで進めると、フレキシブルパネルが 1 つ配置された状態でデザインキャンバスが開きます。ここに、パネルグリッドや画像データ、データテーブルを使用してマニュアル画面をデザインしていきます。

まずは、フレキシブルパネルの 1 列目にフローを画像で並べて手順をカスタムリンクと自由テキストで記載します。

1. コンポーネントペインからパネルグリッドをフレキシブルパネルの 1 列目にドラッグ & ドロップします。
2. 行数を “5”、列数を “2” に変更して、[OK] をクリックします。
3. コンポーネントペインから画像をパネルグリッドの 1 行 1 列目にドラッグ & ドロップします。
4. 静的リソースで “step1\_entrystaff” を選択し、[OK] をクリックします。
5. [開く] をクリックします。
6. 同様に、パネルグリッドの 1 列目に残りの画像を配置します。  
2 行目 : step2\_entryhr  
3 行目 : step3\_matching  
4 行目 : step4\_candidate  
5 行目 : step5\_close
7. コンポーネントペインからカスタムリンクをパネルグリッドの 2 列 1 行目にドラッグ & ドロップします。
8. コンポーネントプロパティの [値] を “電話、メール等で受け付けた人材を Salesforce に登録します。” に変更します。
9. [遷移先設定] をクリックし、“Visualforce ページへ” を選択して確認ダイアログで [OK] をクリックします。
10. プルダウンから “SVE\_StaffEdit” を選択します。
11. [完了] をクリックします。
12. [別ウインドウで開く] を ON にします。
13. 同様に、2 行 2 列目にもカスタムリンクを配置します。[値] は “取引先から受領した求人案件情報を Salesforce に登録します。” とし、[遷移先設定] の Visualforce ページ名は “SVE\_HREdit” としてください。
14. コンポーネントペインから自由テキストを 3 行 2 列目にドラッグ & ドロップします。

15. 自由テキストの値を“求人案件にマッチする人材を検索し、マッチング登録します。”に修正します。
16. 同様に、パネルグリッドの 2 列目に残りの自由テキストを配置します。  
4 行目： マッチング登録した人材を取引先に紹介します。  
5 行目： 人材の採用決定もしくは紹介期間の終了を以って、求人案件をクローズします。
17. パネルグリッド全体を選択し、[線種] を“無し” にします。
18. 全てのセルを選択し、[線種] を“無し” にします。
19. 行の高さと幅を調整します。

次に、フレキシブルパネルの 2 列目にデータテーブルを並べます。

1. フレキシブルパネルの 2 列目にはページブロックを配置し、タイトルを“受付中求人案件一覧”に変更します。
2. [表示モード] を“maindetail” に、[ボタン表示領域] を“非表示” にします。
3. データテーブルをページブロック内に配置します。
4. オブジェクトで“求人案件”を選択し、[OK] をクリックします。
5. オブジェクトタブをクリックし、関連オブジェクトで“求人案件”を選択します。
6. 求人番号、取引先、案件名をデータテーブルに配置します。
7. データテーブルの絞込条件に“状況が受付と一致する”検索条件を設定します。
8. データテーブルの“求人番号”表示項目をクリックし、[下線] と [リンクとして表示] [リンクを別ウインドウで開く] を ON にします。
9. 受付中求人案件一覧の下にページブロックを配置し、タイトルを“紹介前マッチング一覧”に変更します。
10. [表示モード] を“maindetail” に、[ボタン表示領域] を“非表示” にします。
11. データテーブルをページブロック内に配置します。
12. オブジェクトで“紹介”を選択し、[OK] をクリックします。
13. オブジェクトタブをクリックし、関連オブジェクトで“紹介”を選択します。
14. 紹介番号、求人案件、人材をデータテーブルに配置します。
15. データテーブルの絞込条件に“状況が紹介前と一致する”と、“作成者 ID のユーザ ID が {UserId} と一致する”検索条件を設定します。
16. データテーブルの“紹介番号”表示項目をクリックし、[下線] と [リンクとして表示] [リンクを別ウインドウで開く] を ON にします。
17. 紹介前マッチング一覧の下にページブロックを配置し、タイトルを“未完了求人案件一覧”に変更します。
18. [表示モード] を“maindetail” に、[ボタン表示領域] を“非表示” にします。
19. データテーブルをページブロック内に配置します。

20. オブジェクトで“求人案件”を選択し、[OK] をクリックします。
21. オブジェクトタブをクリックし、関連オブジェクトで“求人案件”を選択します。
22. 求人番号、案件名、状況をデータテーブルに配置します。
23. データテーブルの絞り込みに“状況が受付と一致する”検索条件を設定します。
24. データテーブルの“求人番号”表示項目をクリックし、[下線] と [リンクとして表示] [リンクを別ウインドウで開く] を ON にします。

最後にページタイトルを設定し、デプロイして完成させましょう。

1. ページプロパティの [ページタイトル] に“マニュアル”と入力します。
2. デプロイします。

ホーム Chatter 取引先 求人案件 人材 紹介

**人材登録**  
電話、メール等で受け付けを人材をSalesforceに登録します。

**求人案件登録**  
取引先から受領した求人案件情報をSalesforceに登録します。

**マッチング**  
求人案件にマッチする人材を検索し、マッチング登録します。

**人材紹介**  
マッチング登録した人材を取引先に紹介します。

**案件クローズ**  
人材の採用決定もしくは紹介期間の終了を持って、求人案件をクローズします。

受付中求人案件一覧  
件数:0  
求人番号 取引先 案件名

紹介前マッチング一覧  
件数:0  
紹介番号 求人案件 人材

未完了求人案件一覧  
件数:1  
求人番号 案件名 状況  
hr-20180331-00001 テラスカイ様-一般事務派遣 マッチング中

図 21 : 完成イメージ (マニュアル画面)

## 10. デプロイ後に行う Salesforce の設定

所要時間： 10～15 分

Studio で画面を作成したら、実際にユーザが利用しやすいように呼び出し設定を行います。呼び出す方法は 3 つあります。

- ・ URL を直接指定する（カスタムリンク等から呼び出す）
- ・ ボタン／リンクを上書きする
- ・ Visualforce タブを作成する

今回は、ボタン／リンクと Visualforce タブから作成した画面を呼び出す方法での設定を行います。

ボタン／リンクの上書き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SVE_HREdit</li> <li>・ SVE_HRView</li> <li>・ SVE_StaffEdit</li> <li>・ SVE_StaffView</li> </ul>
Visualforce タブの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SVE_CandidateSearch</li> <li>・ SVE_Manual</li> </ul>

### Tips :

- ◇ SkyVisualEditor 画面上の保存ボタン押下後（レコードの新規作成／編集時）及び削除ボタン押下後（レコードの削除時）の遷移先画面を個別指定したい場合は、ページプロパティの「画面遷移先設定」で実装が可能です。  
<https://doc.terraSky.com/pages/viewpage.action?pageId=10003291>

### 画面呼び出し設定（ボタン／リンクの上書き）

まず、求人案件レコードのボタン／リンクをクリックした際に SVE\_HREdit, SVE\_HRView を開く設定を行います。

1. Salesforce の設定画面を開きます。
2. [クイック検索] に “オブジェクト” と入力します。
3. ビルド > 作成 の “オブジェクト” をクリックします。
4. “求人案件” をクリックします。
5. “ボタン、リンク、及びアクション” をクリックします。
6. “参照” の編集リンクをクリックします。
7. [上書き手段] で Visualforce ページをチェックし、“SVE\_HRView” を選択します。
8. [保存] をクリックします。
9. 同様に、“新規” と “編集” を “SVE\_HREdit” で上書きします。

これで、求人案件の画面呼び出し設定は完了です。同じ手順で人材の画面呼び出し設定を行いましょ  
う。

1. Salesforce の設定画面を開きます。
2. [クイック検索] に “オブジェクト” と入力します。
3. ビルド > 作成 の “オブジェクト” をクリックします。
4. “人材” をクリックします。
5. “ボタン、リンク、及びアクション” をクリックします。
6. “参照” の編集リンクをクリックします。
7. [上書き手段] で Visualforce ページをチェックし、“SVE\_StaffView” を選択します。
8. [保存] をクリックします。
9. 同様に、“新規” と “編集” を “SVE\_StaffEdit” で上書きします。

## 画面呼び出し設定（Visualforce タブ）

検索画面やマニュアル画面はレコードを特定せずに開く画面のため、Visualforce タブから呼び出す方法  
が最適です。SVE\_CandidateSearch, SVE\_Manual を Visualforce タブに設定しましょう。

1. Salesforce の設定画面を開きます。
2. [クイック検索] に “タブ” と入力します。
3. ビルド > 作成 の “タブ” をクリックします。
4. Visualforce タブの [新規] をクリックします。
5. Visualforce ページで “SVE\_CandidateSearch” を選択します。
6. タブの表示ラベルに “紹介検索” と入力します。
7. タブ名に “SVE\_CandidateSearch” と入力します。
8. タブスタイルで “望遠鏡” を選択します。
9. [次へ] をクリックします。
10. プロファイルの設定は変更せず、[次へ] をクリックします。
11. [SVEWB]人材紹介アプリケーションにタブを含めるチェックを入れ、[保存] をクリックします。

これで、「紹介検索」というタブから SVE\_CandidateSearch を呼び出す設定が完了しました。早速  
タブをクリックして動作検証してみましょう。

画面の呼び出しは無事成功しましたが、選択されているタブがクリックしたタブと異なることが確認できます。

これは、検索画面の主オブジェクトが「紹介」であるために、紹介オブジェクトのカスタムオブジェクトタブが選択されてしまうという挙動です。「紹介検索」タブが選択されるようにするためには、Studio 側で特別な設定が必要です。Visualforce タブを作成した後、SkyVisualEditor VF の画面に Visualforce タブの API 参照名 (タブ名 + \_\_tab) を設定します。

1. “SVE\_CandidateSearch” を開きます。
2. ページプロパティの [タブスタイル] に “SVE\_CandidateSearch\_\_tab” と入力します。
3. デプロイします。

「紹介検索」タブをクリックして、動作を確認してください。

## Visualforce ページ、Apex クラスへのアクセス有効化

SkyVisualEditor VF の画面を構成する Visualforce ページと Apex クラスは、プロファイルにてアクセスが有効化されていないと利用することができません。Studio で Salesforce に接続し、画面をデプロイしたユーザが所属するプロファイルには自動でアクセスが有効化されますが、それ以外のプロファイルには手動で設定する必要があります。実際のプロジェクトでは、SkyVisualEditor の画面にアクセスするユーザが属するプロファイル全てに設定を行って下さい。

設定方法はヘルプを参照してください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10002965>

## 11. より便利に利用いただくために

所要時間： 20～25 分

SkyVisualEditor VF には前章までで学習した機能の他にもより便利に利用するための機能があります。この章では、ルックアップ時に任意の項目値を取得する機能と 3 つのテンプレート、AppComponent について紹介します。さらに、インストールしてすぐに利用できる「SkyVisualEditor 標準 AppComponent」の利用方法を学びます。

### ルックアップ時に任意の項目値を取得する機能（ルックアップ設定）

ルックアップ設定を行うと、ルックアップ実行時（をクリックして親レコードを選択した時）に、親レコードから Name 項目以外の項目値を取得できる機能です。例えば、求人案件の編集画面で取引先をルックアップした際に、取引先名以外に「取引先 業種」項目の値を求人案件にコピーするといった利用方法が出来ます。その場合、求人案件にも「業種」項目を予め用意しておく必要があります。

ルックアップ設定の詳細はヘルプを参照してください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10003092>

### ウィザード画面テンプレート

ウィザード画面テンプレートは、A ページ、B ページ、C ページ...と複数ページに入力項目を分けて画面を表示し、最後に確認画面にて入力値を確認した後にデータを保存するようなウィザード形式の画面を作成することができるテンプレートです。資料請求フォームやアンケートサイトなどに適しています。TS スタッフイング株式会社の人材紹介業務では、求職者がセルフ登録するサイトの画面への適用が提案できます。

ウィザード画面テンプレートの詳細はヘルプを参照してください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10002953>

### ページ割り当てテンプレート

ページ割り当てテンプレートは、プロフィール・レコードタイプごとに表示するページを割り当てるための画面を作成することができるテンプレートです。例えば、プロフィール A に属するユーザは SkyVisualEditor VF 画面を利用し、プロフィール B に属するユーザは標準レイアウトを利用するといった割り当てが可能です。

ページ割り当てテンプレートの詳細はヘルプを参照してください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10002948>

## 親子登録テンプレート

親子登録テンプレートは親・子オブジェクトのレコードを同時登録・編集可能な画面をウィザード形式で作成できるテンプレートです。Salesforce レイアウトや自由レイアウトで作成するよりもスピーディに画面作成が可能です。ただし、親子登録テンプレートには次項で説明する AppComponent の配置ができないので、AppComponent の要件が発生した場合は Salesforce レイアウトや自由レイアウトへの切り替えが必要です。

親子登録テンプレートの詳細はヘルプを参照してください。

<https://doc.terraskey.com/pages/viewpage.action?pageId=10002922>

## AppComponent

AppComponent とは、SkyVisualEditor VF の画面上に組み込み可能なアプリケーションです。AppComponent の利用可能パターンを以下に示します。

Salesforce 内のデータや機能の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>SOQL や SOSL を使用して、画面表示している主オブジェクトに関係のない情報を取得する。</li> <li>作成したレポート、ダッシュボードを画面に表示する</li> </ul>
外部との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>API が公開されている外部サービス（GoogleMap や Twitter など）を画面に表示する</li> <li>自社サービスなど外部サーバと連携する</li> </ul>
既存の部品との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>SkyVisualEditor の既存コンポーネントであるテーブル内のデータを一括変換するボタンを作成する</li> <li>独自の JavaScript によるバリデーション処理を実施する</li> <li>郵便番号からの住所検索機能（郵便番号項目入力時に住所項目に自動設定）を実装する</li> </ul>

利用方法は以下の 3 つがあります。

- ・ [独自の AppComponent を開発し、画面に組み込んで利用する。](#)
- ・ [テラスカイの提供する SkyVisualEditor 標準 AppComponent を画面に組み込んで利用する。](#)
- ・ [パートナーの提供する AppComponent を画面に組み込んで利用する。](#)

作成した SVE\_StaffEdit には住所を入力する項目があります。この画面に、郵便番号から住所を検索して補完する SkyVisualEditor 標準 AppComponent「住所補完」を適用してみましょう。

はじめに、DE 組織に SkyVisualEditor 標準 AppComponent をインストールします。

1. SkyVisualEditor 標準 AppComponent インストールサイトにアクセスします。  
<https://info.skyvisualeditor.com/developer/appcomponent/005>
2. [パッケージインストール] をクリックします。
3. [すべてのユーザのインストール] を選択し、[インストール] ボタンをクリックします。

Salesforce の重要な更新「Visualforce ドメインから静的リソースを提供」が有効化されている組織においては、郵便番号データファイルを静的リソースに格納しておく必要があります。（重要な更新に「Visualforce ドメインから静的リソースを提供」が表示されていない組織では既に機能が有効化されています。）

1. 郵便番号データファイルを以下 URL から取得します。  
<https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/AppComponent/SkyVisualEditor/ZipCode/zipcode.zip>
2. 取得した ZIP ファイルを静的リソースに名前 “zipcode” で格納します。

次に、SVE\_StaffEdit に AppComponent を組み込みます。

1. SVE\_StaffEdit を開きます。
2. コンポーネントペインの AppComponent セクションに表示された [SkyVisualEditor] の三角マークをクリックして展開します。（表示されていない場合はツールメニューの [オブジェクト再取得] を実行してください。）
3. [住所補完(日本)] をキャンバスペインにドラッグ & ドロップします。配置場所は問いません。
4. 配置したコンポーネントをクリックし、コンポーネントプロパティの [郵便番号リソース名] に “zipcode” と入力します。
5. [郵便番号 項目 ID] のボタンをクリックすると、画面がブルーになります。この状態で、画面上の郵便番号入力項目をクリックします。
6. [都道府県 項目 ID] のボタンをクリックし、都道府県入力項目をクリックします。
7. [市区町村 項目 ID] のボタンをクリックし、市区郡入力項目をクリックします。
8. [町域 項目 ID] のボタンをクリックし、町名番地入力項目をクリックします。

以上で住所補完 AppComponent の組み込みは完了です。デプロイして動作確認してみてください。

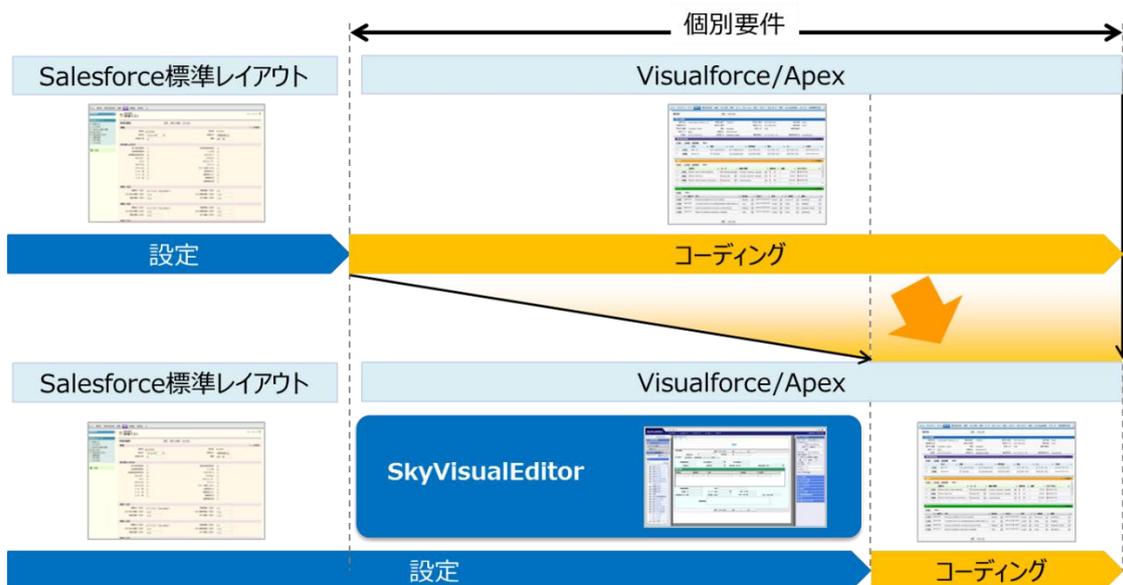
郵便番号	103
都道府県	103-0000 東京都中央区
市区郡	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
町名番地	103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町
ビル名等	103-0003 東京都中央区日本橋横山町
	103-0004 東京都中央区東日本橋
なし--	103-0005 東京都中央区日本橋久松町
なし--	103-0006 東京都中央区日本橋富沢町
なし--	103-0007 東京都中央区日本橋浜町
なし--	103-0008 東京都中央区日本橋中洲
	103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町
	103-0012 東京都中央区日本橋堀留町

（右側） 〇 太学空

図 22 : 完成イメージ（住所補完 AppComponent を適用した画面）

## 12. 高度なカスタマイズ

SkyVisualEditor VF の標準機能では実現できないような処理や既存のプログラムを画面に組み込みたい場合、JavaScript 機能と Apex クラス拡張機能を利用し、標準機能 + コーディングで開発を行うことができます。個別要件が発生したからといってすべてをコーディング開発に切り替えるより効率的かつメンテナンス性高く開発を行うことが可能です。



### JavaScript 機能

標準機能で実現できない要件が発生した際、クライアントサイドの処理を行いたい場合に JavaScript 機能の利用を検討します。項目をクリックしたり値を変更したりした時に画面を再読み込みすることなく実行する処理を組み込みたい場合に JavaScript 機能を利用します。

JavaScript の組み込みは、ページプロパティの「ページスクリプト」に記載する方法と、外部 JavaScript をインクルードする方法があります。サンプルスクリプトは[スクリプトエディタ](#)内で確認できます。

使用例：

Visualforce ページ A にオブジェクト B をデータテーブルで配置して、データテーブルのカスタムボタンをクリック時にオブジェクト B を主オブジェクトにした Visualforce ページ B に遷移する。

```
function openwinSample(){
    window.open('/apex/visualforcepageA?id={! Component20_item.record.Id}');
}
```

※ *Italic* 部分は利用するデザインデータに合わせます

※ *Component20* 部分はデータテーブルの ID を記載します

JavaScript 機能を利用するにはいくつかの注意点があります。

- ・ カスタムボタンやカスタムリンク、入力項目から処理を呼び出す場合には必ず `function` から始まる関数である必要があります。
- ・ `function` で開始しない処理は `onLoad` で呼び出されます。画面表示時に処理を呼び出したい場合は `function` を使用せずに記述してください。
- ・ SkyVisualEditor VF では jQuery を標準機能で利用しており、他のプラグインとの競合を防ぐための `noConflict` メソッドを使用しています。従って、jQuery を利用するスクリプトを記述する際に jQuery ライブラリの読み込みを行う必要はありませんが、書き出しは "\$" ではなく "jquery" としてください。
- ・ JavaScript による機能拡張は標準サポートの対象外です。

## Apex クラス拡張機能

標準機能で実現できない要件が発生した際、サーバーサイドの処理を行いたい場合に Apex クラス拡張機能の利用を検討します。作成した拡張 Apex クラスは Extender と呼ばれます。

Extender は Studio で直接記載する方法と Salesforce にデプロイ済みの Apex クラスを指定する方法があります。

適用範囲、設定手順、実装定義及びサンプルコードをヘルプサイトに詳しく記載していますので、実際に Apex クラス拡張機能を利用する場合は[ヘルプ](#)を参照してください。

また、Extender による機能拡張は標準サポートの対象外ですのでご注意ください。

## ユースケース

標準機能、JavaScript 機能、Apex クラス拡張機能の使い分けについては以下のユースケースを参考にしてください。また、複数画面で同じ処理を行う場合は [AppComponent](#) の開発も検討してください。

凡例： ◎ =実装可能（最適） ○ =実装可能 × =実装不可

要件	標準機能	JavaScript 機能	Apex クラス拡張機能
画面表示時にデータテーブルへ新規行追加したい	◎ データテーブルの [初期追加行数] を指定	×	○

凡例： ◎ =実装可能（最適） ○ =実装可能 × =実装不可

要件	標準機能	JavaScript 機能	Apex クラス 拡張機能
遷移元画面からの URL パラメータを設定して初期値を渡したい	◎	○	○
データテーブルの表示データに条件を付けたい	◎	×	○
カスタムボタン／カスタムリンク押下時にマスク設定したい	×	◎ (ページスクリプトエディタのサンプルコード参照)	○
計算結果の表示に使用している入力項目を読み取り専用にした	×	◎	×
入力項目に色を付けたい	×	◎	×
データテーブルのソートキーとして選択されている列のヘッダー背景色を変更したい	×	◎	×
検索条件に初期値を設定したい	×	○	◎
データテーブルの行追加時にデフォルト値を設定したい	×	×	◎
データテーブルの行コピー時にデフォルト値を設定したい	×	×	◎
データ更新時に排他制御したい	×	×	◎
複数の項目で入力規則エラーが発生した際に独自のエラーメッセージを表示したい	×	○	◎

## 13. SkyVisualEditor のバージョンアップの仕組み

SkyVisualEditor は年数回のバージョンアップを行っています。最新バージョンを利用する場合は AppExchange パッケージを更新します。

バージョンアップの必要性有無の判断方法やバージョンアップ手順は「SkyVisualEditor バージョンアップ手順」を参照してください。

[https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/doc/skyvisualeditor\\_verup\\_manual.pdf#zoom=100](https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/doc/skyvisualeditor_verup_manual.pdf#zoom=100)

## 14. 大規模開発向け機能

大規模なアプリケーションを開発する場合、複数の開発者が複数の Salesforce 組織を取り扱う可能性があります。SkyVisualEditor ではこのような開発環境下で活用できる機能を備えています。

### 複数組織への接続

Studio ログインユーザは接続する Salesforce 組織を限定しません。Studio にログインし Salesforce 組織に接続する際に任意のユーザアカウントを使用するだけで、SkyVisualEditor がインストールされた組織に接続が可能です。また、接続後もツールメニューの [接続先変更] から異なる組織へ変更することができます。このことは、Studio に保存されたデザインデータを複数の組織で利用可能であることを表しています。例えば、モックアップ用 Developer Edition 組織が 1 つ、Sandbox が 2 つの計 3 組織で開発を行っている場合、それぞれに対して同じ Studio から画面をデプロイすることが出来ます。異なる組織ごとに Studio ユーザアカウントを取得する必要はありません。

### デザインデータのバックアップ

Studio では 2 つの方法でデザインデータのバックアップを取得することができます。利用方法はヘルプを参照してください。

ローカル保存	<p>デザインデータ（SVE ファイル）をローカル環境に保存する機能です。別の Studio でデザインデータを再利用する場合はこの機能を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Studio で開いているデザインデータをローカルに保存する方法 <a href="https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10003060">https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10003060</a></li> <li>複数のデザインデータを一括でローカルに保存する方法 <a href="https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=12752957">https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=12752957</a></li> </ul>
--------	---

バージョン保存	デザインデータ内に複数のバージョンを保存する機能です。最大 50 件のバージョン保存と過去バージョンの読み込みが Studio 内で実行できます。 <a href="https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10008590">https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=10008590</a>
---------	--

## グループユーザー

グループユーザーは、Studio 内で複数ユーザがデザインデータを共有し編集・デプロイできる機能です。1 つの Studio に対し、最大 10 名のグループユーザーの登録が可能です。グループユーザーの登録や削除等の管理機能は通常ユーザー登録を行った管理ユーザーのみ行うことができます。

なお、本機能はグループユーザー間における複数バージョン管理を行うものではありません。前項で説明した「バージョン保存」機能と組み合わせて管理してください。

ヘルプ「グループユーザー&高度な管理機能」

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=48761874>

## 旧環境（前バージョン）の利用

Studio 本番環境（最新バージョン）はバージョンアップの期日を迎えるとバージョンアップが必要です。バージョンアップ後にデザインデータの作成や編集を行う場合はパッケージも最新バージョンを利用する必要がありますが、旧環境を利用すれば引き続き前バージョンで作成や編集を行うことができます。

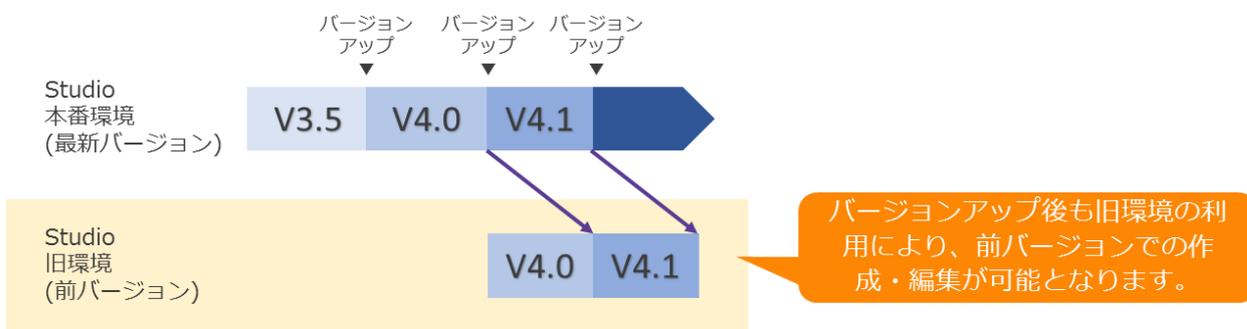


図 23 : 本番環境と旧環境の仕組み

旧環境を利用する運用例として、SkyVisualEditor のバージョンアップのタイミングを Salesforce バージョンアップのタイミングと合わせ、SkyVisualEditor と Salesforce の新バージョンテストを同時期に行うといったことが挙げられます。

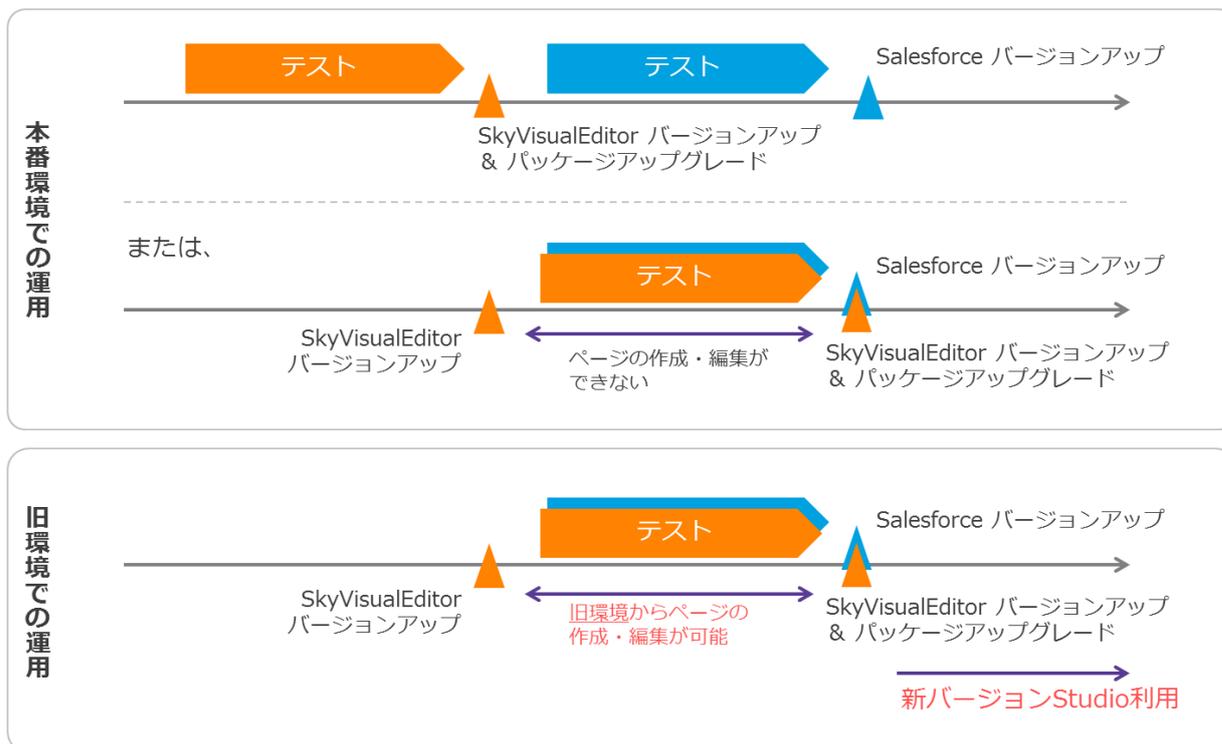


図 24 : 旧環境の運用例

なお、本番環境と旧環境は同じデータベースを参照し、同一ファイルを扱う仕様となっているため、利用にあたっては注意事項があります。

- ・ 本番環境で作成・編集したページは旧環境で表示することはできません。
- ・ 最新バージョンと前バージョンのページを一緒に利用することはできません。
- ・ 旧環境の利用は専用の URL からログインして利用してください。

<https://www.skyvisualeditor.com/pg/login>

ヘルプ「旧環境へのログイン」

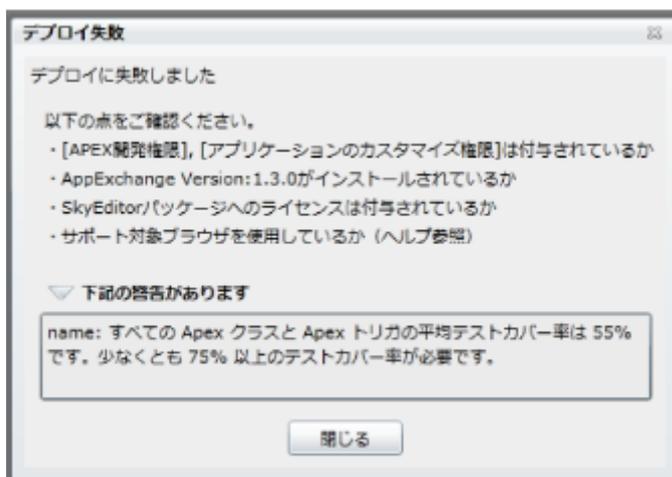
<https://doc.terra-sky.com/pages/viewpage.action?pageId=59244965>

## 15. Salesforce プラットフォームの理解

SkyVisualEditor で開発するにあたり、Salesforce プラットフォームの制限事項について特に意識することなく画面を開発することができますが、特定の条件下においてはエラーの発生を招く可能性があります。本章ではエラーを回避するために理解しておくべき事項を説明します。

### Apex コードカバー率

Salesforce の本番環境に Apex をデプロイするためには、組織全体のコードカバー率が 75%以上を達成することが求められます。SkyVisualEditor で自動生成する Apex クラスは 100%のカバー率を担保していますが、デプロイエラーになった場合は他にカバー率の低い Apex（トリガを含む個別開発）や拡張 Apex クラス（Extender）が組織内に存在しないか確認してください。



### ガバナ制限

Apex はマルチテナント環境である Salesforce プラットフォーム上で実行されるため、共有リソースを独占させないための制限が設けられています。この制限に抵触するとエラーが発生するため、大量データを取り扱う場合や拡張 Apex クラス（Extender）を開発する際にはガバナ制限を考慮に入れて開発する必要があります。

エラー発生の例：[カスタムルックアップ画面にて、\[Too many query rows: 50001\]が発生](#)

ガバナ制限の詳細は Salesforce のドキュメントを参照してください。

[https://developer.salesforce.com/docs/atlas.jp.salesforce\\_app\\_limits\\_cheatsheet.meta/salesforce\\_app\\_limits\\_cheatsheet/salesforce\\_app\\_limits\\_platform\\_apexgov.htm](https://developer.salesforce.com/docs/atlas.jp.salesforce_app_limits_cheatsheet.meta/salesforce_app_limits_cheatsheet/salesforce_app_limits_platform_apexgov.htm)

## 16. パフォーマンスチューニング

ガバナ制限の回避やパフォーマンス向上のために、SkyVisualEditor VF 画面を最適化する方法として、次のベストプラクティス案を検討します。

最適なブラウザの種類、バージョンを選択する	速度性能を良くするためには最新バージョンのブラウザを使用します。
ページに表示するデータ量を制限する	配置項目、コンポーネント数の削減や画面に表示するデータ量の削減、画像の圧縮を行います。
利用する機能を選択する	画面表示速度に影響する機能の有効/無効化を選択します。
画面初期表示時に一部を非表示にする	初期表示時に一部を非表示にし、遅延読み込みを実行します。
View State の最適化	配置項目、コンポーネント数の削減や配置する項目型・検索結果保持方式・テーブルの読み取り専用有効化の検討を行い、View State サイズを制限以下にします。
CSS の最適化	個別に設定した CSS のデータサイズを削減し、外部ファイル化します。
JavaScript の最適化	個別に設定した JavaScript のデータサイズを削減し、ライブラリ化します。
データベースのチューニング	カスタムインデックス、スキニーテーブルを適用します。

詳細は「SkyVisualEditor 開発ベストプラクティス- パフォーマンス編」を参照してください。

[https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/doc/skyvisualeditor\\_development\\_best\\_practices\\_performance.pdf#pagemode=bookmarks&zoom=100](https://s3.amazonaws.com/www.skyvisualeditor.com/doc/skyvisualeditor_development_best_practices_performance.pdf#pagemode=bookmarks&zoom=100)

## 17. トラブルが発生した際の対処方法

SkyVisualEditor を利用するにあたり、トラブルに遭遇した場合は原因の究明と解決が欠かせません。ヘルプ及びナレッジに以下の「よくあるトラブル」の原因と解決方法を記載しています。こちらで解決しない場合にはサポートへ問い合わせてください。

### AppExchange のインストール :

- ・ [インストールできない](#)
- ・ [Sandbox にインストールする際にエラーが発生する](#)

### Studio 関連 :

- ・ [Studio が起動しない](#)
- ・ [「保存」「保存 & バージョン保存」「デプロイ」実行時にシステムエラーが発生する](#)
- ・ [Studio から Salesforce に接続できない](#)
  - [Salesforce に接続する際に “LOGIN\\_DURING\\_RESTRICTED\\_DOMAIN” エラーが発生する。](#)
  - [Salesforce に接続する際に “LOGIN\\_MUST\\_USE\\_SECURITY\\_TOKEN” エラーが発生する。](#)
- ・ [デプロイ時に警告が表示される](#)
- ・ [デプロイ時にタイムアウトエラーが発生する](#)
- ・ [デプロイに失敗する](#)
  - [デプロイに失敗する \(75%以上のテストカバレッジが必要と表示される\)](#)
  - [デプロイに失敗する \(テストエラーが表示される\)](#)
  - [デプロイに失敗する \(システムエラーが発生\)](#)
  - [デプロイに失敗する \(“エンティティを解決できませんでした” とエラーが表示\)](#)
  - [デプロイに失敗する \(Chatter アンサーの有効化後\)](#)
  - [デプロイに失敗する \(“Variable does not exist: Account.SObjectType” が発生\)](#)

### デプロイ後の画面利用

- ・ [“ビューステート \(ViewState\) の最大表示サイズの制限を超えています” というエラーが発生する](#)

- ・ “ライセンスが必要です” “アクセス権がありません” というエラーが表示される (ライセンス期限切れ)
- ・ “ライセンスが必要です” というエラーが表示される (使用ユーザのプロファイルにアクセス権限が付与されていない)
- ・ 検索条件項目の入力欄が表示されない。行動オブジェクトの入力欄が表示されない
- ・ データ参照時に “レコード保存時の入力エラー” が発生する
- ・ 商談商品テーブルを編集時、「販売価格」の項目を配置しないと販売価格が意図しない値になる
- ・ カスタムルックアップ画面の表示データに Salesforce 標準の「ルックアップ検索条件」が反映されていない。
- ・ 商談オブジェクトのレコード編集権限がなくても「商談商品」の編集ができる
- ・ 「個人取引先」を有効化するとエラーが発生する画面がある
- ・ インライン編集が動作しない
- ・ カスタムルックアップ画面で “Too many query rows: 50001” が発生する
- ・ 検索画面の検索条件登録時に “sf:API\_CURRENTLY\_DISABLED” エラーが発生する
- ・ 連動関係を設定変更した場合に標準ページレイアウトと選択リストの選択肢表示が異なる

## 18. Appendix

---

SkyVisualEditor の利用方法、活用方法を各種ドキュメントで公開しています。

- ・ ヘルプ  
<https://doc.terrasky.com/display/SVE4JA/Home>  
ヘルプサイトのトップ画面に、各種ドキュメント（PDF）へのリンクがあります。
  - Salesforce1 対応ガイド
  - SkyVisualEditor 開発ベストプラクティス・パフォーマンス編
  - Visualforce ページインポート ユーザマニュアル
  - Sandbox から本番環境への移行手順
  - SkyVisualEditor バージョアップ手順
  - ブラウザのキャッシュを消去する方法について
- ・ ナレッジ  
<https://doc.terrasky.com/display/SVEKB/Home>
- ・ ブログ  
<https://base.terrasky.co.jp/tags/SkyVisualEditor>
- ・ コンテンツライブラリ（動画や過去ウェビナーコンテンツ等）  
<https://www.terrasky.co.jp/document/sve-sup/>

## 19. お問い合わせ先

---

本ワークブックに関するお問い合わせは以下までお願いいたします。

株式会社テラスカイ SkyVisualEditor 技術支援担当

[support@terrasky.co.jp](mailto:support@terrasky.co.jp)

以上